# 2021年度　シラバス（授業要覧）

# 表現学科　演劇放送フィールド

# ２年生



| 科　目 | 表現研究Ⅲ | 開講時期<br>履修方法 | ２年前期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 81ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｽ | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | アニメの登場人物を演じる。 | | |
| 到達目標 | 登場人物にふさわしい声色、表情、表現を身につける。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 人物の感情や状況をどのように捉え表現するかを、授業内発表で測り評価する。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 台本の分析 | オーディションの準備 |
| 2. | オーディション | シーン１の稽古 |
| 3. | シーン１を演じる | シーン１の稽古 |
| 4. | シーン１を演じる | シーン１の稽古 |
| 5. | シーン１を演じる | シーン１の稽古 |
| 6. | シーン１を演じる | シーン２の稽古 |
| 7. | シーン２を演じる | シーン２の稽古 |
| 8. | シーン２を演じる | シーン２の稽古 |
| 9. | シーン２を演じる | シーン２の稽古 |
| 10. | シーン２を録音する | シーン３の稽古 |
| 11. | シーン３を演じる | シーン３の稽古 |
| 12. | シーン３を演じる | シーン３の稽古 |
| 13. | シーン３を演じる | シーン３の稽古 |
| 14. | シーン３を録音する | テストの準備 |
| 15. | まとめ | テストの準備 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 台本と映像を用意する。 |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度　（３０%）　授業内課題　（３０%）　授業内発表　（４０%） |
| 特記すべき事項 | |
| 質問・相談等の受付 | |

2-2

| 科　目 | 表現研究Ⅳ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子・岡　幸二郎 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | ミュージカルのソロ歌唱を通して表現を学ぶ。 | | |
| 到達目標 | ミュージカルのソロ歌唱を通して、自分の個性と役柄ににあった表現をする事ができる。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 一人づつ歌唱することによって、歌唱力、表現力を評価する。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 自己紹介を通して、自分の個性に気づく。 | 自己紹介を考えておく。 |
| 2. | 呼吸法を学ぶ。 | 呼吸法を復習する。」 |
| 3. | 舞台上でのコミュニケーションを学ぶ。 | コミュニケーションを実施してみる。 |
| 4. | ミュージカルのソロ歌唱。その１ | 歌曲を練習する。 |
| 5. | ミュージカルのソロ歌唱。その２ | 歌曲を練習する。 |
| 6. | ミュージカルのソロ歌唱。その３ | 歌曲を練習する。 |
| 7. | ミュージカルのソロ歌唱。その４ | 歌曲を練習する。 |
| 8. | ミュージカルのソロ歌唱。その５ | 歌曲を練習する。 |
| 9. | ミュージカルのソロ歌唱。その６ | 歌曲を練習する。 |
| 10. | ミュージカルのソロ歌唱。その７ | 歌曲を練習する。 |
| 11. | ミュージカルのソロ歌唱。その８ | 歌曲を練習する。 |
| 12. | ミュージカルのソロ歌唱。その９ | 歌曲を練習する。 |
| 13. | ミュージカルのソロ歌唱。その10 | 歌曲を練習する。 |
| 14. | ミュージカルのソロ歌唱。その11 | 歌曲を練習する。 |
| 15. | まとめ。 | ミュージカルの表現について考える。 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | なし。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 授業内発表７０％<br>受講態度３０％ |
| 特記すべき事　項 | ミュージカル俳優として30年以上の経験を有する。（岡幸二郎）<br>ミュージカル作曲家、音楽監督として40年に経験を有する（上田聖子） |
| 質問・相談等の受付 | 授業内に受け付ける。 |

| 科　目 | 映像研究Ⅰ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 梁木靖弘 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>2単位 |
| 授業概要 | 発明から１２０年、映画はつねに大衆文化の中心にあった。テクノロジーの発達によって、映画は古い形態になりつつあるかもしれない。しかし文化として絶大なる影響力を持った映画の魅力を知ることは、重要である。表現者としての素地を広げるために、映画史を幅広く学ぶ。 | | |
| 到達目標 | 大衆娯楽と芸術の間で揺れ動いたテクノロジーである映画を通じて、社会における文化表現とは何かを把握する。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 音楽、ダンス、ドラマなど、各自の関心に従って、映画史の見取り図を作れるようになること。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 映画の創世記。リュミエール兄弟とメリエスについて学ぶ。① | 映画の発明について調べる |
| 2. | 映画の創世記。リュミエール兄弟とメリエスについて学ぶ。② | 映画の発明について調べる |
| 3. | ジャンルの発達。スペクタクル、史劇、女優① | どんなジャンル分けができるか考えてくる |
| 4. | ジャンルの発達。スペクタクル、史劇、女優② | どんなジャンル分けができるか考えてくる |
| 5. | サイレント映画。キートン、ロイド、チャップリンのコメディについて学ぶ① | 無声映画をYouTubeなどで観ておく |
| 6. | サイレント映画。キートン、ロイド、チャップリンのコメディについて学ぶ② | 無声映画をYouTubeなどで観ておく |
| 7. | セリフがないから、体を張った演技で表現する① | パントマイムとサイレント映画の演技の違いについて考える |
| 8. | セリフがないから、体を張った演技で表現する② | パントマイムとサイレント映画の演技の違いについて考える |
| 9. | サイレント映画は無声なのか？　大オーケストラのための映画① | 日本の活弁について調べておく |
| 10. | サイレント映画は無声なのか？　大オーケストラのための映画② | 日本の活弁について調べておく |
| 11. | ＳＦ映画の金字塔「メトロポリス」について学ぶ① | SF映画を観ておく |
| 12. | ＳＦ映画の金字塔「メトロポリス」について学ぶ② | SF映画を観ておく |
| 13. | すでにサイレントで映画は完成していた。「戦艦ポチョムキン」につて学ぶ① | 「モンタージュ」ということばを調べておく |
| 14. | すでにサイレントで映画は完成していた。「戦艦ポチョムキン」につて学ぶ② | 「モンタージュ」ということばを調べておく |
| 15. | セルゲイ・エイゼンシテイン、フリッツ・ラングについて学ぶ① | サイレントからトーキーに移ったのはいつ頃か、調べる |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 教材は特にないが、映像作品、ドキュメンタリーを随時使用する。 |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度　(20%)　毎週小レポート　(20%)　授業内課題　(10%)　授業内発表　(10%)　その他【期末授業内レポート】　(40%) |
| 特記すべき事項 | アジアフォーカス・福岡国際映画祭ディレクター（2007～） |
| 質問・相談等の受付 | |

2-K

| 科　目 | 身体表現研究Ａ－Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 齊藤　彩 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | バレエのルーツに関する知識及びアカデミックなレッスンを初心の青年層を対象として指導し、動くことへの興味と実践を追求。 | | |
| 到達目標 | 音感の向上や身体の可能性を広げる。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 授業中の態度と課題の成果をもって評価する。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | バーレッスン　ポール・ド・ブラ<br>オウミリュー1 | １年次レッスンの復習 |
| 2. | バーレッスン　ポール・ド・ブラ<br>オウミリュー２ | 前回の復習 |
| 3. | バーレッスン　ポール・ド・ブラ<br>オウミリュー３ | 前回の復習 |
| 4. | バーレッスン　ポール・ド・ブラ<br>オウミリュー４ | 前回の復習 |
| 5. | バーレッスン　ポール・ド・ブラ<br>オウミリュー５ | 前回の復習 |
| 6. | バーレッスン　ポール・ド・ブラ<br>オウミリュー６ | 前回の復習 |
| 7. | バーレッスン　ポール・ド・ブラ<br>オウミリュー７ | 前回の復習 |
| 8. | バーレッスン　ポール・ド・ブラ<br>オウミリュー８ | 前回の復習 |
| 9. | バーレッスン　ポール・ド・ブラ<br>オウミリュー９ | アダージオ・グランパの予習 |
| 10. | 中盤のまとめ<br>（各パ・アダージオ・アレグロ・グランパ） | 前回の復習 |
| 11. | バーレッスン　ポール・ド・ブラ<br>オウミリュー１ | 前回の復習 |
| 12. | バーレッスン　ポール・ド・ブラ<br>オウミリュー２ | 前回の復習 |
| 13. | バーレッスン　ポール・ド・ブラ<br>オウミリュー３ | 前回の復習 |
| 14. | バーレッスン　ポール・ド・ブラ<br>オウミリュー４ | 前回の復習 |
| 15. | バーレッスン　ポール・ド・ブラ<br>オウミリュー５ | 前回の復習 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度　（５０%）　　授業内課題　（５０%） |
| 特記すべき事項 | 身体のことなので稽古量が必要とされる。自習することは望ましいが、正しく基礎をわきまえて行い、怪我に注意すること。 |
| 質問・相談等の受付 | |

2-4

| 科　目 | 身体表現研究Ａ－Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 齊藤　彩 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | バレエのルーツに関する知識及びアカデミックなレッスンを初心の青年層を対象として指導し、動くことへの興味と実践を追求。 | | |
| 到達目標 | 音感の向上や身体の可能性を広げる。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 授業中の態度と課題の成果をもって評価する。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 16. | バーレッスン　ポール・ド・ブラ<br>オウミリュー６ | アンシェヌマン |
| 17. | 後期のまとめ<br>（トゥールも紹介） | アンシェヌマン |
| 18. | まとめ | 授業の振り返り |
| 19. | まとめ | 授業の振り返り |
| 20. | まとめ | 授業の振り返り |
| 21. | まとめ | 授業の振り返り |
| 22. | まとめ | 授業の振り返り |
| 23. | まとめ | 授業の振り返り |
| 24. | | |
| 25. | | |
| 26. | | |
| 27. | | |
| 28. | | |
| 29. | | |
| 30. | | |

| | |
|---|---|
| 教科書 | |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度　（５０％）　　授業内課題　（５０％） |
| 特記すべき事項 | 身体のことなので稽古量が必要とされる。自習することは望ましいが、正しく基礎をわきまえて行い、怪我に注意すること。 |
| 質問・相談等の受付 | |

2-5

| 科　目 | 身体表現研究Ｂ－Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 齊藤　彩 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | 舞台への実践に向けて、アカデミックなポジションをより正確に学び、その応用を多方面に追及。 | | |
| 到達目標 | あくまで身体を動かすことですから、自分に継続を課してレッスンをすることを望みます。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 授業中の態度と課題の成果をもって評価する。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | バーレッスン　オウミリュー　1 | １年次のレッスンの復習 |
| 2. | バーレッスン　オウミリュー　2 | 前回の復習 |
| 3. | バーレッスン　オウミリュー　3 | 前回の復習 |
| 4. | バーレッスン　オウミリュー　4 | 前回の復習 |
| 5. | バーレッスン　オウミリュー　5 | 前回の復習 |
| 6. | バーレッスン　オウミリュー　6 | 前回の復習 |
| 7. | バーレッスン　オウミリュー　7 | 前回の復習 |
| 8. | バーレッスン　オウミリュー　8 | 前回の復習 |
| 9. | バーレッスン　オウミリュー　9 | アダジオ・アレグロ・ワルツの予習 |
| 10. | 前期のまとめ<br>（アデジオ・アレグロ・ワルツ） | アダジオ・アレグロ・ワルツの予習 |
| 11. | バーレッスン　オウミリュー　1 | 前回の復習 |
| 12. | バーレッスン　オウミリュー　2 | 前回の復習 |
| 13. | バーレッスン　オウミリュー　3 | 前回の復習 |
| 14. | バーレッスン　オウミリュー　4 | 前回の復習 |
| 15. | バーレッスン　オウミリュー　5 | 前回の復習 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度　（５０%）　　授業内課題　（５０%） |
| 特記すべき事項 | 身体のことなので稽古量が必要とされる。自習することは望ましいが、正しく基礎をわきまえて行い、怪我に注意すること。 |
| 質問・相談等の受付 | |

2-5

| 科　目 | 身体表現研究Ｂ－Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 齊藤　彩 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | 舞台への実践に向けて、アカデミックなポジションをより正確に学び、その応用を多方面に追及。 | | |
| 到達目標 | あくまで身体を動かすことですから、自分に継続を課してレッスンをすることを望みます。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 授業中の態度と課題の成果をもって評価する。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 16. | バーレッスン　オウミリュー　６ | アンシェヌマン |
| 17. | 後期のまとめ<br>（グランワルツ・コーダ） | アンシェヌマン |
| 18. | まとめ | 授業の振り返り |
| 19. | まとめ | 授業の振り返り |
| 20. | まとめ | 授業の振り返り |
| 21. | まとめ | 授業の振り返り |
| 22. | まとめ | 授業の振り返り |
| 23. | まとめ | 授業の振り返り |
| 24. | | |
| 25. | | |
| 26. | | |
| 27. | | |
| 28. | | |
| 29. | | |
| 30. | | |

| | |
|---|---|
| 教科書 | |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度　（５０%）　　授業内課題　（５０%） |
| 特記すべき事項 | 身体のことなので稽古量が必要とされる。自習することは望ましいが、正しく基礎をわきまえて行い、怪我に注意すること。 |
| 質問・相談等の受付 | |

| 科　目 | 身体表現研究Ｃ－Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 福田眞弓 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | 基礎の見直し。いろいろなジャンルの踊り・曲に挑戦していく。 | | |
| 到達目標 | 身体を使って踊ることができる。音を細かくとって動くことができる。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 毎授業の復習を含めた授業中の成果及び最後の授業で行うテストの成果で評価する。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | ピルエット①・振付 | 振付の確認 |
| 2. | ピルエット②・表現する | ピルエットの確認 |
| 3. | ピルエット③・身体をしっかり使って表現する | 振付の追求 |
| 4. | グラン・パ・ドゥ・シャ①・振付 | 振付の確認 |
| 5. | グラン・パ・ドゥ・シャ②・表現する | ｸﾞﾗﾝ･ﾊﾟ･ﾄﾞｩ･ｼｬの確認 |
| 6. | アントルラッセ①・挑戦する | 振付の追求 |
| 7. | アントルラッセ②・音に合わせて表現する | ｱﾝﾄﾙﾗｯｾの確認 |
| 8. | コンビネーション①・振付 | 振付の追求 |
| 9. | コンビネーション①・表現する | コンビネーションの確認 |
| 10. | コンビネーション①・挑戦する | 振付の追求 |
| 11. | コンビネーション②・音に合わせて踊る | コンビネーションの確認 |
| 12. | コンビネーション②・振付 | 振付の追求 |
| 13. | コンビネーション②・表現する | コンビネーションの確認 |
| 14. | コンビネーション③・挑戦する | 振付の追求 |
| 15. | コンビネーション③・音に合わせて踊る | コンビネーションの確認 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度　(50%)　小テスト　(10%)　授業内課題　(20%)　定期試験　(10%)　授業内発表　(10%) |
| 特記すべき事項 | ジャズシューズ・身体のラインがわかる服装で受講のこと。水分とタオルを持参のこと。髪の毛の長い人は結んでください。 |
| 質問・相談等の受付 | |

2-6

| 科　目 | 身体表現研究Ｃ－Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 福田眞弓 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | 基礎の見直し。いろいろなジャンルの踊り・曲に挑戦していく。 | | |
| 到達目標 | 身体を使って踊ることができる。音を細かくとって動くことができる。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 毎授業の復習を含めた授業中の成果及び最後の授業で行うテストの成果で評価する。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 16. | 振付 | 振付の確認 |
| 17. | 技術と表現の向上 | 振付の追求 |
| 18. | 音に合わせて技術を使い表現する | 大きく動く練習 |
| 19. | まとめ | 授業の振り返り |
| 20. | まとめ | 授業の振り返り |
| 21. | まとめ | 授業の振り返り |
| 22. | まとめ | 授業の振り返り |
| 23. | まとめ | 授業の振り返り |
| 24. | | |
| 25. | | |
| 26. | | |
| 27. | | |
| 28. | | |
| 29. | | |
| 30. | | |

| | |
|---|---|
| 教科書 | |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度　(50%)　小テスト　(10%)　授業内課題　(20%)　定期試験　(10%)　授業内発表　(10%) |
| 特記すべき事項 | ジャズシューズ・身体のラインがわかる服装で受講のこと。水分とタオルを持参のこと。髪の毛の長い人は結んでください。 |
| 質問・相談等の受付 | |

2-7

| 科　目 | 身体表現研究Ｄ－Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 福田眞弓 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | 技術の向上。いろいろな事に意識を配りながら踊ることができる。筋肉の構造を理解して踊ることができる。 | | |
| 到達目標 | 一体感を持って踊ることができる。人から見られていることを意識して踊ることができる。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 毎授業の復習を含めた授業中の成果及び最後の授業で行うテストの成果で評価する。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | コンビネーション① | 動きの確認 |
| 2. | 振付①振付・音に合わせて踊る | 振付の復習 |
| 3. | 振付①技術の向上、身体の使い方の確認 | 苦手な技の練習<br>ボディの使い方の復習 |
| 4. | 振付①技術・表現の向上 | 大きく動く練習 |
| 5. | 振付②振付・音に合わせて踊る | 振付の復習 |
| 6. | 振付②技術の向上・身体の使い方の確認 | 苦手な技の練習<br>ボディの使い方の復習 |
| 7. | 振付②技術・表現の向上 | 大きく動く練習 |
| 8. | 振付③振付・音に合わせて踊る | 振付の復習 |
| 9. | 振付③技術の向上・身体の使い方の確認 | 苦手な技の練習<br>ボディの使い方の復習 |
| 10. | 振付③技術・表現の向上 | 大きく動く練習 |
| 11. | 振付④振付・音に合わせて踊る | 振付の復習 |
| 12. | 振付④技術の向上 | 苦手な技の練習 |
| 13. | 振付④身体の使い方の確認 | ボディの使い方の復習 |
| 14. | 振付④技術・表現の向上 | 大きく動く練習 |
| 15. | 振付⑤振付・音に合わせて踊る | 振付の復習 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度　(50%)　小テスト　(10%)　授業内課題　(20%)　定期試験　(10%)　授業内発表　(10%) |
| 特記すべき事項 | ジャズシューズ・身体のラインがわかる服装で受講のこと。水分とタオルを持参のこと。髪の毛の長い人は結んでください。 |
| 質問・相談等の受付 | |

2-7

| 科　目 | 身体表現研究Ｄ－Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 福田眞弓 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | 技術の向上。いろいろな事に意識を配りながら踊ることができる。筋肉の構造を理解して踊ることができる。 | | |
| 到達目標 | 一体感を持って踊ることができる。人から見られていることを意識して踊ることができる。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 毎授業の復習を含めた授業中の成果及び最後の授業で行うテストの成果で評価する。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 16. | 振付⑤技術の向上、身体の使い方の確認 | 苦手な技の練習<br>ボディの使い方の復習 |
| 17. | 振付⑤技術・表現の向上 | 大きく動く練習 |
| 18. | まとめ | 授業の振り返り |
| 19. | まとめ | 授業の振り返り |
| 20. | まとめ | 授業の振り返り |
| 21. | まとめ | 授業の振り返り |
| 22. | まとめ | 授業の振り返り |
| 23. | まとめ | 授業の振り返り |
| 24. | | |
| 25. | | |
| 26. | | |
| 27. | | |
| 28. | | |
| 29. | | |
| 30. | | |

| | |
|---|---|
| 教科書 | |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度　(50%)　小テスト　(10%)　授業内課題　(20%)　定期試験　(10%)　授業内発表　(10%) |
| 特記すべき事項 | ジャズシューズ・身体のラインがわかる服装で受講のこと。水分とタオルを持参のこと。髪の毛の長い人は結んでください。 |
| 質問・相談等の受付 | |

2-8

| 科　目 | 身体表現研究Ｅ－Ⅰ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 河本章宏 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | 舞台・映像に必要なアクションと殺陣の基礎を学ぶ。 | | |
| 到達目標 | 身体の中心軸を捉え、ケガのないしなやかで強い肉体を手に入れる。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 授業内課題により評価する。<br>①速やかな重心移動が出来る。<br>②前回り受け身が出来る。<br>③剣とボディアクションの型が出来る。<br>④芝居の中で安全に立ち回りが出来る。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 肉体訓練(1)（インナーマッスル） | ウオーミングアップ |
| 2. | 肉体訓練(2)（体さばき） | ウオーミングアップ |
| 3. | 肉体訓練(3)（摺り足） | ウオーミングアップ |
| 4. | 肉体訓練(4)（空手・型） | ウオーミングアップ |
| 5. | 殺陣(1)（素振り） | ウオーミングアップ |
| 6. | 殺陣(2))　（型） | 素振り |
| 7. | 殺陣(3)（手合わせ） | 素振り |
| 8. | 殺陣(4)（手合わせ） | 素振り |
| 9. | 殺陣(5)（抜刀・納刀） | 素振り |
| 10. | 殺陣(6)（初級手つけ） | 振り確認 |
| 11. | 殺陣(7)（初級手つけ） | 振り確認 |
| 12. | 殺陣(8)（中級手つけ） | 振り確認 |
| 13. | 殺陣(9)（中級手つけ） | 振り確認 |
| 14. | ボディアクション(1)（ジャブ・ストレート・フック） | ウォーミングアップ・体幹トレーニング |
| 15. | ボディアクション(2)（前蹴り・側刀・下段回し蹴り・上段回し蹴り・後ろ回し蹴り） | ウォーミングアップ・体幹トレーニング |

| | |
|---|---|
| 教科書 | |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 授業態度（30%）授業内課題（70%）<br>授業内課題発表時にコメントし、フィードバックします。 |
| 特記すべき事項 | 2005年～2015年殺陣師渥美博氏に師事。数々の舞台に出演、アクションコーディネーターとして振付を担当。<br>動ける服装で受講のこと。 |
| 質問・相談等の受付 | 随時可。 |

28

| 科　目 | 身体表現研究Ｅ－Ⅰ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 河本章宏 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | 舞台・映像に必要なアクションと殺陣の基礎を学ぶ。 | | |
| 到達目標 | 身体の中心軸を捉え、ケガのないしなやかで強い肉体を手に入れる。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 授業内課題により評価する。<br>①速やかな重心移動が出来る。<br>②前回り受け身が出来る。<br>③剣とボディアクションの型が出来る。<br>④芝居の中で立ち回りが出来る。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 16. | ボディアクション(3)（組み手） | ウォーミングアップ・体幹トレーニング |
| 17. | ボディアクション(4)（組み手） | ウォーミングアップ・体幹トレーニング |
| 18. | マット（基礎） | ウォーミングアップ・体幹トレーニング |
| 19. | マット（前転・側転・バク転） | ウォーミングアップ・体幹トレーニング |
| 20. | シーン・ワーク(1)（総合アクション） | 振り確認 |
| 21. | シーン・ワーク(2)（総合アクション） | 振り確認 |
| 22. | シーン・ワーク(3)（総合アクション） | 振り確認 |
| 23. | シーンワーク(4)（まとめ/作品鑑賞） | 振り返り |
| 24. | | |
| 25. | | |
| 26. | | |
| 27. | | |
| 28. | | |
| 29. | | |
| 30. | | |

| | |
|---|---|
| 教科書 | |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 授業態度（30%）授業内課題（70%）<br>授業内課題発表時にコメントし、フィードバックします。 |
| 特記すべき事項 | 2005年～2015年殺陣師遥美博氏に師事。数々の舞台に出演、アクションコーディネーターとして振付を担当。<br>動ける服装で受講のこと。 |
| 質問・相談等の受付 | 随時可。 |

| 科　目 | 身体表現研究Ｅ－Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年前期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | 2020年7月20日から7月24日までに行われる『音楽劇Shinran』の稽古。<br>俳優として、またスタッフとして、音楽劇完成に向けて稽古する。 | | |
| 到達目標 | 『音楽劇Shinran』のＩ幕を歌い、踊り、出はけを含めた立ち位置を把握して演じる事ができる。<br>また、スタッフとして的確な動きができる。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 集中度、積極性、協調性を『受講態度』とする。<br>また、俳優として自分の個性や役柄にあった表現ができる事、スタッフとして的確な動きが出来る事をを評価基準とする。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | Ｉ幕プロローグを歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 2. | Ｉ幕１場、２場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 3. | Ｉ幕３場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 4. | Ｉ幕４場から６場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 5. | Ｉ幕７場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 6. | Ｉ幕８場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 7. | Ｉ幕９場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復誉する。 |
| 8. | Ｉ幕１０場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 9. | Ｉ幕１０場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 10. | Ｉ幕１０場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 11. | Ｉ幕１１場から１４場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 12. | Ｉ幕１５場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 13. | Ｉ幕１５場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 14. | Ｉ幕１５場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 15. | Ｉ幕１５場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 音楽劇Shinranの台本と楽譜。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度５０%<br>授業内課題達成度５０% |
| 特記すべき事項 | 音楽監督として40年を超える経験を有する。 |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

29

| 科　目 | 身体表現研究Ｅ－Ⅱ | 開講時期 | ２年前期集中 |
|---|---|---|---|
| | | 履修方法 | 選択、専門科目 |
| 担当者 | 上田聖子 | 授業形態 | 実技 |
| | | 単位数 | 1単位 |
| 授業概要 | 2020年7月20日から7月24日までに行われる『音楽劇Shinran』の稽古。<br>俳優として、またスタッフとして、音楽劇完成に向けて稽古する。 | | |
| 到達目標 | 『音楽劇Shinran』のＩ幕を歌い、踊り、出はけを含めた立ち位置を把握して演じる事ができる。<br>また、スタッフとして的確な動きができる。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 集中度、積極性、協調性を『受講態度』とする。<br>また、俳優として自分の個性や役柄にあった表現ができる事、スタッフとして的確な動きが出来る事をを評価基準とする。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 16. | Ｉ幕１６場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 17. | Ｉ幕１６場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 18. | Ｉ幕１６場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 19. | Ｉ幕全場を復習する。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 20. | Ｉ幕全場を復習する。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 21. | Ｉ幕全場を復習する。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 22. | Ｉ幕全場を復習する。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 23. | Ｉ幕全場を復習する。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 24. | | |
| 25. | | |
| 26. | | |
| 27. | | |
| 28. | | |
| 29. | | |
| 30. | | |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 音楽劇Shinranの台本と楽譜。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度５０％<br>授業内課題達成度５０％ |
| 特記すべき事項 | 音楽監督として40年を超える経験を有する。 |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

2-10

| 科　目 | 身体表現研究Ｆ－Ⅰ | 開講時期<br>履修方法 | ２年前期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | 2021年7月26日から7月29日までに行われる『音楽劇Shinran』の稽古。<br>俳優として、またスタッフとして、音楽劇完成に向けて稽古する。 | | |
| 到達目標 | 『音楽劇Shinran』の２幕を歌い、踊り、出はけを含めた立ち位置を把握して演じる事が出来る。<br>また、スタッフとして的確な動きが出来る。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 集中度、積極性、協調性を『受講態度』とする。<br>また、俳優として自分の個性や役柄に合った表現ができる事、スタッフとして的確な動きが出来る事を評価基準とする。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | １場を痛い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 2. | １場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 3. | １場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 4. | ２場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 5. | ３場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 6. | ５場、６場を歌い、踊り、演じる。（４場はカット） | 楽曲及び芝居場を復習する・ |
| 7. | ７場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 8. | ８場、９場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 9. | ９場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 10. | 10場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 11. | 11場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 12. | 12場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 13. | 13場、14場を歌い、踊り、演じる。（15場は欠番） | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 14. | 16場、17場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 15. | 17場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 『音楽劇Shinran』の台本と楽譜。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度５０%<br>授業内課題達成度50% |
| 特記すべき事項 | 音楽監督として40年を超える経験を有する。 |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

2－10

| 科　目 | 身体表現研究Ｆ－Ⅰ | 開講時期<br>履修方法 | ２年前期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | 2021年7月26日から7月29日までに行われる『音楽劇Shinran』の稽古。<br>俳優として、またスタッフとして、音楽劇完成に向けて稽古する。 | | |
| 到達目標 | 『音楽劇Shinran』の２幕を歌い、踊り、出はけを含めた立ち位置を把握して演じる事が出来る。<br>また、スタッフとして的確な動きが出来る。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 集中度、積極性、協調性を『受講態度』とする。<br>また、俳優として自分の個性や役柄に合った表現ができる事、スタッフとして的確な動きが出来る事を評価基準とする。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 16. | 18場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 17. | 18場を歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 18. | エピローグを歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 19. | エピローグを歌い、踊り、演じる。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 20. | ２幕全場を復習する。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 21. | ２幕全場を復習する。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 22. | ２幕全場を復習する。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 23. | ２幕全場を復習する。 | 楽曲及び芝居場を復習する。 |
| 24. | | |
| 25. | | |
| 26. | | |
| 27. | | |
| 28. | | |
| 29. | | |
| 30. | | |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 『音楽劇Shinran』の台本と楽譜。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度５０％<br>授業内課題達成度50% |
| 特記すべき事項 | 音楽監督として40年を超える経験を有する。 |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

| 科　目 | 身体表現研究Ｆ－Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年前期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | 2021年7月31日から8月4日までに行われる『音楽劇Shinran』の稽古。<br>俳優として、またスタッフとして、音楽劇完成に向けて稽古する。 | | |
| 到達目標 | 『音楽劇Shinran』の全幕を小返ししながら、俳優として自分の個性や役柄、場面に合った演技が出来る。<br>また、スタッフとして的確な動きが出来る。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 集中度、積極性、協調性を『受講態度』とする。<br>また俳優として自分の個性や役柄、また場面にあった表現ができる事、スタッフとして的確な判断と動きができる事を評価基準とする。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 人形操作を学ぶ。 | 人形操作を復習する。 |
| 2. | 舞台装置（盆）の操作を練習する。 | 盆操作を復習するとともに、自分の立ち位置を復習する。 |
| 3. | 舞台装置（盆）の操作をしながら、更に人形を操作しつつMナンバーや芝居場を演じる | 人形操作、盆操作を復習するとともに、自分の立ち位置を復習する。 |
| 4. | 舞台装置（盆）の操作をしながら、更に人形を操作しつつMナンバーや芝居場を演じる。 | 人形操作、盆操作を確認するとともに、自分の立ち位置を復習する。 |
| 5. | 舞台装置（盆）を操作しながら、更に波布や人形を操作しつつMナンバーや芝居場を演じる。 | 人形操作、盆操作を復習するとともに、自分の立ち位置を復習する。 |
| 6. | １幕小返し。 | 体調を整える。 |
| 7. | １幕小返し。 | 体調を整える。 |
| 8. | １幕小返し。 | 体調を整える。 |
| 9. | １幕小返し。 | 体調を整える。 |
| 10. | １幕小返し。 | 体調を整える。 |
| 11. | ２幕小返し。 | 体調を整える。 |
| 12. | ２幕小返し。 | 体調を整える。 |
| 13. | ２幕小返し。 | 体調を整える。 |
| 14. | ２幕小返し。 | 体調を整える。 |
| 15. | ２幕小返し。 | 体調を整える。 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 『音楽劇Shinran』の台本と楽譜。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度50%<br>授業内課題達成度50% |
| 特記すべき事項 | 音楽監督として40年を超える経験を有する。 |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

| 科　目 | 身体表現研究Ｆ－Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年前期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |

| | |
|---|---|
| 授業概要 | 2021年7月31日から8月4日までに行われる『音楽劇Shinran』の稽古。<br>俳優として、またスタッフとして、音楽劇完成に向けて稽古する。 |
| 到達目標 | 『音楽劇Shinran』の全幕を小返ししながら、俳優として自分の個性や役柄、場面に合った演技が出来る。<br>また、スタッフとして的確な動きが出来る。 |
| 学習成果の評価基準 | 集中度、積極性、協調性を『受講態度』とする。<br>また俳優として自分の個性や役柄、また場面にあった表現ができる事、スタッフとして的確な判断と動きができる事を評価基準とする。 |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 16. | 全幕小返し。 | 体調を整える。 |
| 17. | 全幕小返し。 | 体調を整える。 |
| 18. | 全幕小返し。 | 体調を整える。 |
| 19. | 全幕小返し。 | 体調を整える。 |
| 20. | 全幕小返し。 | 体調を整える。 |
| 21. | 全幕通し（１幕） | 体調を整える。 |
| 22. | 全幕通し（２幕） | 体調を整える。 |
| 23. | ダメ出し。 | 体調を整える。 |
| 24. | | |
| 25. | | |
| 26. | | |
| 27. | | |
| 28. | | |
| 29. | | |
| 30. | | |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 『音楽劇Shinran』の台本と楽譜。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度50%<br>授業内課題達成度50% |
| 特記すべき事項 | 音楽監督として40年を超える経験を有する。 |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

2-12

| 科　目 | 音声表現研究Ａ－Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 植木　誠 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | １年次に学んだ音声表現を基に、更に音声での表現の幅を広げる。 | | |
| 到達目標 | 音声表現を、自身を他者に表現する手段として使えるようになる。<br>自己表現のみならず、客観的に音声を捉えられるようになる。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。<br>授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。<br>評価は「ことば」「芝居」をみる。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 授業概要の確認 | |
| 2. | 外郎売の復習 | 外郎売の復習 |
| 3. | ＭＣ、会話の広げ方① | 原稿を読んでおく |
| 4. | ＭＣ、会話の広げ方② | 原稿を読んでおく |
| 5. | ナレーション実践① | 原稿を読んでおく |
| 6. | ナレーション実践② | 原稿を読んでおく |
| 7. | ラジオ番組作成① | 企画を考える |
| 8. | ラジオ番組作成② | 企画を考える |
| 9. | ラジオ番組作成③ | 企画を考える |
| 10. | 初見力を鍛える① | 発声・ストレッチ等 |
| 11. | 初見力を鍛える② | 発声・ストレッチ等 |
| 12. | 物語を作る① | 発声・ストレッチ等 |
| 13. | 物語を作る② | 発声・ストレッチ等 |
| 14. | ビブリオバトル① | プレゼン本を選ぶ |
| 15. | ビブリオバトル② | プレゼン本を選ぶ |

| | |
|---|---|
| 教科書 | ＤＶＤ・台本等 |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度４０%、授業内成果発表６０% |
| 特記すべき事項 | 声優として多数の作品に出演 |
| 質問・相談等の受付 | |

| 科　目 | 音声表現研究Ａ－Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 植木　誠 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | １年次に学んだ音声表現を基に、更に音声での表現の幅を広げる。 | | |
| 到達目標 | 音声表現を、自身を他者に表現する手段として使えるようになる。<br>自己表現のみならず、客観的に音声を捉えられるようになる。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。<br>授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。<br>評価は「ことば」「芝居」をみる。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 16. | ビブリオバトル③ | プレゼン本を選ぶ |
| 17. | ラジオ番組作成④ | 企画・制作の段取り |
| 18. | ラジオ番組作成⑤ | 企画・制作の段取り |
| 19. | ラジオ番組作成⑥ | 企画・制作の段取り |
| 20. | ラジオ番組作成⑦ | 企画・制作の段取り |
| 21. | ラジオ番組作成⑧ | 企画・制作の段取り |
| 22. | ラジオ番組作成⑨ | 企画・制作の段取り |
| 23. | まとめ | 振り返り |
| 24. | | |
| 25. | | |
| 26. | | |
| 27. | | |
| 28. | | |
| 29. | | |
| 30. | | |

| | |
|---|---|
| 教科書 | ＤＶＤ・台本等 |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度４０％、授業内成果発表６０％ |
| 特記すべき事項 | 声優として多数の作品に出演 |
| 質問・相談等の受付 | |

2-13

| 科　目 | 音声表現研究Ｂ－Ⅱ | 開講時期 | ２年通年 |
|---|---|---|---|
| | | 履修方法 | 選択、専門科目 |
| 担当者 | 松本美和 | 授業形態 | 実技 |
| | | 単位数 | 1単位 |

| | |
|---|---|
| 授業概要 | 声優として必要とされる芝居を学ぶ。<br>スタジオ内でのマナーや用語、マイクワークの実践。 |
| 到達目標 | 声優として必要とされる芝居の確立。<br>スタジオ内でのマナーや用語、マイクワークが習得できる。 |
| 学習成果の評価基準 | アニメ制作において、声優の役割を理解し、実技実践していくなかで、的確な状況判断をおこない、状況に合わせた芝居ができているかを評価する。 |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 授業概要の確認<br>目標.進路を設定する | |
| 2. | 1年次の復習<br>復習と自己の課題を設定する | 配布プリントを読んでおく |
| 3. | 言葉へのアプローチ<br>言葉への意識を取り戻す | 配布プリントを読んでおく |
| 4. | セリフ（1）<br>声のみの表現練習（第一段階） | 台本を読んでおく |
| 5. | セリフ（2）<br>声のみの表現練習（第二段階） | 台本を読んでおく |
| 6. | アニメアフレコ（1）<br>クオリティーの高い言葉（第一段階） | 台本を読んでおく |
| 7. | アニメアフレコ（2）<br>クオリティーの高い言葉（第二段階） | 台本を読んでおく |
| 8. | アニメアフレコ（3）<br>緻密なキャラクター作り（第一段階） | 台本を読んでおく |
| 9. | アニメアフレコ（4）<br>緻密なキャラクター作り（第二段階） | 台本を読んでおく |
| 10. | アニメアフレコ（5）<br>緻密なキャラクター作り（第三段階） | 台本を読んでおく |
| 11. | アニメアフレコ（6）<br>的確に映像に合わせる（第一段階） | 台本を読んでおく |
| 12. | アニメアフレコ（7）<br>的確に映像に合わせる（第二段階） | 台本を読んでおく |
| 13. | アニメアフレコ（8）<br>生きた芝居（第一段階） | 台本を読んでおく |
| 14. | アニメアフレコ（9）<br>生きた芝居（第二段階） | 台本を読んでおく |
| 15. | アニメアフレコ（10）<br>生きた芝居（第三段階） | 台本を読んでおく |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 配布プリント、台本、映像資料 |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度　（４０%）　授業内課題　（４０%）　その他【　演技への積極性　】　（２０%） |
| 特記すべき事項 | 台本、テキストを読み込み、積極的に行動、努力すること。 |
| 質問・相談等の受付 | |

2-13

| 科　目 | 音声表現研究Ｂ－Ⅱ | 開講時期 | ２年通年 |
|---|---|---|---|
| | | 履修方法 | 選択、専門科目 |
| 担当者 | 松本美和 | 授業形態 | 実技 |
| | | 単位数 | 1単位 |

| | |
|---|---|
| 授業概要 | 声優として必要とされる芝居を学ぶ。<br>スタジオ内でのマナーや用語、マイクワークの実践。 |
| 到達目標 | 声優として必要とされる芝居の確立。<br>スタジオ内でのマナーや用語、マイクワークが習得できる。 |
| 学習成果の評価基準 | アニメ制作において、声優の役割を理解し、実技実践していくなかで、的確な状況判断をおこない、状況に合わせた芝居ができているかを評価する。 |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 16. | アテレコについて学ぶ<br>アニメと外画の違いを理解する | 配布プリントを読んでおく |
| 17. | 外画アテレコ（1）<br>アテレコの流れを学ぶ | 台本を読み映像を見ておく |
| 18. | 外画アテレコ（2）<br>台本と映像の関係を理解する | 台本を読み映像を見ておく |
| 19. | 〃外画アテレコ（３）<br>映像に台詞を合わせる | 台本を読み映像を見ておく |
| 20. | 外画アテレコ（４）<br>映像に合わせ収録する | 台本を読み映像を見ておく |
| 21. | 外画アテレコ（５）<br>クオリティーの高い台詞 | 台本を読み映像を見ておく |
| 22. | 外画アテレコ（６）<br>緻密なキャラクター作り、芝居 | 台本を読み映像を見ておく |
| 23. | まとめ及び評価<br>振り返り総括 | |
| 24. | | |
| 25. | | |
| 26. | | |
| 27. | | |
| 28. | | |
| 29. | | |
| 30. | | |

| | |
|---|---|
| 教科書 | |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度　（４０%）　授業内課題　（４０%）　その他【　演技への積極性　】　（２０%） |
| 特記すべき事項 | 台本、テキストを読み込み、積極的に行動、努力すること。 |
| 質問・相談等の受付 | |

2-14

| 科　目 | 歌唱表現法Ａ－Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年前期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | 2021年8月5日から8月８日までに行われる「音楽劇Shinran」の稽古、及び８月9日の中間発表。<br>俳優として、またスタッフとして、音楽劇完成に向けて稽古する。 | | |
| 到達目標 | 「音楽劇Shinran」の全幕を、俳優として演じる事が出来る。<br>またスタッフとして的確に判断し行動する事が出来る。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 集中度、積極性、協調性を『受講態度』とする。<br>また、俳優として自分の個性や役柄、場面に合った表現が出来る事、スタッフとして的確な判断や動きが責任を持って出来る事を評価基準とする。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 8月5日、舞台及び音響チェック。<br>プリセット。 | 体調を整える。 |
| 2. | 8月5日、通し稽古。<br>Ⅰ幕を演じる。 | 体調を整える。 |
| 3. | 8月5日、通し稽古。<br>２幕を演じる。 | 体調を整える。 |
| 4. | ８月6日、ダメ出し、小返し。 | ダメ出しをもとに演技、スタッフワークを修正する。 |
| 5. | ８月6日、舞台及び音響チェック。<br>8月6日、舞台及び音響チェック。<br>プリセット。 | 体調を整える。 |
| 6. | ８月6日、通し稽古。<br>Ⅰ幕を演じる。 | 体調を整える。 |
| 7. | ８月6日、通し稽古。<br>２幕を演じる。 | 体調を整える。 |
| 8. | ８月6日、通し稽古。<br>ダメ出し。小返し。 | ダメ出しをもとに演技、スタッフワークを修正する。 |
| 9. | ８月7日、小返し。 | 体調を整える。 |
| 10. | 8月7日、舞台及び音響チェック。<br>プリセット。 | 体調を整える。 |
| 11. | ８月7日、通し稽古。<br>Ⅰ幕を演じる。 | 体調を整える。 |
| 12. | ８月7日、通し稽古。<br>２幕を演じる。 | 体調を整える。 |
| 13. | ８月7日、通し稽古。<br>ダメ出し。小返し。 | ダメ出しをもとに演技、スタッフワークを修正する。 |
| 14. | ８月8日、小返し。 | 体調を整える。 |
| 15. | ８月８日、舞台及び音響チェック。<br>プリセット。 | 体調を整える。 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 「音楽劇Shinran」の台本と楽譜。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度50%<br>授業内課題達成度50% |
| 特記すべき事項 | 音楽監督として40年を超える経験を有する。 |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

2-14

| 科　目 | 歌唱表現法Ａ－Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年前期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | 2021年8月5日から8月８日までに行われる「音楽劇Shinran」の稽古、及び８月9日の中間発表。<br>俳優として、またスタッフとして、音楽劇完成に向けて稽古する。 | | |
| 到達目標 | 「音楽劇Shinran」の全幕を、俳優として演じる事が出来る。<br>またスタッフとして的確に判断し行動する事が出来る。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 集中度、積極性、協調性を『受講態度』とする。<br>また、俳優として自分の個性や役柄、場面に合った表現が出来る事、スタッフとして的確な判断や動きが責任を持って出来る事を評価基準とする。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 16. | 月8日、GP。<br>Ⅰ幕を演じる。 | 体調を整える。 |
| 17. | ８月8日、GP。<br>２幕を演じる。 | 体調を整える。 |
| 18. | ８月8日、ダメ出し。小返し。 | ダメ出しをもとに演技、スタッフワークを修正する。 |
| 19. | ８月9日、小返し。 | 体調を整える。 |
| 20. | ８月9日、舞台及び音響チェック。<br>プリセット。 | 体調を整える。 |
| 21. | ８月9日試演会。<br>１幕を演じる。 | 体調を整える。 |
| 22. | ８月9日試演会。<br>２幕を演じる。 | 体調を整える。 |
| 23. | ８月9日。<br>ダメ出し、及び稽古場撤収。 | ダメ出しをもとに演技、スタッフワークを修正する。 |
| 24. | | |
| 25. | | |
| 26. | | |
| 27. | | |
| 28. | | |
| 29. | | |
| 30. | | |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 「音楽劇Shinran」の台本と楽譜。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度50%<br>授業内課題達成度50% |
| 特記すべき事項 | 音楽監督として40年を超える経験を有する。 |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

2-15

| 科　目 | ミュージカル研究Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | ミュージカル歌曲を、歌い、踊り、演じる。又はスタッフとして関わる。 | | |
| 到達目標 | ミュージカル歌曲を自分の個性や役柄に合わせて、歌い、踊り、演じる。又はスタッフとしての役割を果たす。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 授業での集中度、積極性を『受講態度』の評価とする。<br>また、課題曲の達成度、スタッフとしての仕事内容を授業内で評価する。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 音楽劇Shinranの、Ｍ１、Ｍ３を歌い、踊り、演技する。 | 楽曲の予習復習。 |
| 2. | 音楽劇Shinranの、M5、M8を歌い、踊り、演技する。、 | 楽曲の予習復習。 |
| 3. | 音楽劇Shinranの、M22、M31を歌い、踊り、演技する。 | 楽曲の予習復習。 |
| 4. | 音楽劇Shinranの、M39、M40を歌い、踊り、演技する。 | 楽曲の予習復習。 |
| 5. | 音楽劇Shinranの、M41、M42を歌い、踊り、演技する。 | 楽曲の予習復習。 |
| 6. | 音楽劇Shinranの、M48、M52を歌い、踊り、演技する。 | 楽曲の予習復習。 |
| 7. | 上記全曲を歌い、踊り、演技する。 | 楽曲の予習復習。 |
| 8. | 卒業公演の楽曲を譜読みする。 | 楽曲の予習復習。 |
| 9. | 卒業公演の楽曲を譜読みする。 | 楽曲の予習復習。 |
| 10. | 卒業公演の楽曲を譜読みする。 | 楽曲の予習復習。 |
| 11. | 卒業公演の楽曲を譜読みする。 | 楽曲の予習復習。 |
| 12. | 卒業公演の楽曲を譜読みする。 | 楽曲の予習復習。 |
| 13. | 卒業公演の楽曲を振り入れする。 | 楽曲の予習復習。 |
| 14. | 卒業公演の楽曲を振り入れする。 | 楽曲の予習復習。 |
| 15. | 卒業公演の楽曲を振り入れする。 | 楽曲の予習復習 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 「音楽劇Shinran』の楽譜。<br>卒業公演の楽譜。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度５０％<br>授業内達成度５０％ |
| 特記すべき事項 | 音楽監督として40年以上の経験を有する。 |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

2-15

| 科　目 | ミュージカル研究Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | ミュージカル歌曲を、歌い、踊り、演じる。又はスタッフとして関わる。 | | |
| 到達目標 | ミュージカル歌曲を自分の個性や役柄に合わせて、歌い、踊り、演じる。又はスタッフとしての役割を果たす。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 授業での集中度、積極性を『受講態度』の評価とする。<br>また、課題曲の達成度、スタッフとしての仕事内容を授業内で評価する。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 16. | 卒業公演の楽曲を振り入れする。 | 楽曲の予習復習。 |
| 17. | 卒業公演の楽曲を振り入れする。 | 楽曲の予習復習。 |
| 18. | 卒業公演の楽曲を振り入れする。 | 楽曲の予習復習。 |
| 19. | 卒業公演の楽曲を振り入れする。 | 楽曲の予習復習。 |
| 20. | 卒業公演の楽曲を振り入れする。 | 楽曲の予習復習。 |
| 21. | 卒業公演の楽曲を振り入れする。 | 楽曲の予習復習。 |
| 22. | 卒業公演の楽曲を振り入れする。 | 楽曲の予習復習。 |
| 23. | 卒業公演の楽曲を振り入れする。 | 楽曲の復習。 |
| 24. | | |
| 25. | | |
| 26. | | |
| 27. | | |
| 28. | | |
| 29. | | |
| 30. | | |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 「音楽劇Shinran』の楽譜。<br>卒業公演の楽譜。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度５０％<br>授業内達成度５０％ |
| 特記すべき事項 | 音楽監督として40年以上の経験を有する。 |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

| 科　目 | ミュージカル研究Ⅲ | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子・河本章宏 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | 2021年9月6日から9月10日までに行われる、「音楽劇Shinran」の舞台稽古。<br>俳優として、またスタッフとして音楽劇完成に向けて稽古、準備する。 | | |
| 到達目標 | 俳優として、舞台機構を使いながら場面を演じる事が出来る。<br>またスタッフとして、舞台機構を安全に使い、場面を進行する事が出来る。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 集中度、積極性、協調性を『受講態度』とする。<br>また俳優として、スタッフとして、演出家や音楽監督、舞台監督の指示の元、的確に判断し行動する事が出来る事を評価基準とする。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 舞台機構の説明。<br>安全性の確認。 | 体調を整える。 |
| 2. | 「音楽劇Shinran」Ⅰ幕の小返し。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 3. | 「音楽劇Shinran」Ⅰ幕の小返し。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 4. | 「音楽劇Shinran」Ⅰ幕の小返し。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 5. | 「音楽劇Shinran」Ⅰ幕の小返し。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 6. | 「音楽劇Shinran」Ⅰ幕の小返し。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 7. | 「音楽劇Shinran」Ⅰ幕の小返し。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 8. | 「音楽劇Shinran」Ⅰ幕の小返し。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 9. | 「音楽劇Shinran」２幕の小返し。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 10. | 「音楽劇Shinran」２幕の小返し。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 11. | 「音楽劇Shinran」２幕の小返し。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 12. | 「音楽劇Shinran」２幕の小返し。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 13. | 「音楽劇Shinran」２幕の小返し。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 14. | 「音楽劇Shinran」２幕の小返し。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 15. | 「音楽劇Shinran」２幕の小返し。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 「音楽劇Shinran」の台本と楽譜。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度５０%<br>授業内課題達成度５０５ |
| 特記すべき事項 | 音楽監督として40年を変える経験を有す。（上田聖子）<br>ミュージカル演出家として20年を超える経験を有する。（河本章宏） |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

| 科　目 | ミュージカル研究Ⅲ | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子・河本章宏 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | 2021年9月6日から9月10日までに行われる、「音楽劇Shinran」の舞台稽古。<br>俳優として、またスタッフとして音楽劇完成に向けて稽古、準備する。 | | |
| 到達目標 | 俳優として、舞台機構を使いながら場面を演じる事が出来る。<br>またスタッフとして、舞台機構を安全に使い、場面を進行する事が出来る。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 集中度、積極性、協調性を『受講態度』とする。<br>また俳優として、スタッフとして、演出家や音楽監督、舞台監督の指示の元、的確に判断し行動する事が出来る事を評価基準とする。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 16. | 「音楽劇Shinran」全幕の通し稽古。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 17. | 「音楽劇Shinran」全幕の通し稽古。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 18. | 「音楽劇Shinran」全幕の通し稽古。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 19. | 「音楽劇Shinran」全幕の通し稽古。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 20. | 「音楽劇Shinran」全幕の通し稽古。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 21. | 「音楽劇Shinran」全幕の通し稽古。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 22. | 「音楽劇Shinran」全幕の通し稽古。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 23. | 「音楽劇Shinran」全幕の通し稽古。<br>舞台機構を安全に使いながら行う。 | 体調を整える。 |
| 24. | | |
| 25. | | |
| 26. | | |
| 27. | | |
| 28. | | |
| 29. | | |
| 30. | | |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 「音楽劇Shinran」の台本と楽譜。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度５０％<br>授業内課題達成度５０５ |
| 特記すべき事項 | 音楽監督として40年を変える経験を有す。（上田聖子）<br>ミュージカル演出家として20年を超える経験を有する。（河本章宏） |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

2-17

| 科　目 | ミュージカル研究Ⅳ | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子・河本章宏 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | 2021年9月11日から9月15日までに行われる、「音楽劇Shinran」の舞台稽古。主に照明仕込みと明かり作り。<br>俳優として、またスタッフとして音楽劇完成に向けて作業、リハーサルする。 | | |
| 到達目標 | 俳優として、照明の中で効果的に演じ登場人物を表現する事が出来る。<br>またスタッフとして、舞台機構を安全に使い、場面を進行する事が出来る。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 集中度、積極性、協調性を『受講態度』とする。<br>また俳優として、スタッフとして、演出家や音楽監督、舞台監督の指示の元、的確に判断し行動する事が出来る事を評価基準とする。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 照明仕込み。<br>俳優は小返し、及び芝居場とMナンバー稽古。 | 体調を整える。 |
| 2. | 照明仕込み。<br>俳優は小返し、及び芝居場とMナンバー稽古。 | 体調を整える。 |
| 3. | 照明仕込み。<br>俳優は小返し、及び芝居場とMナンバー稽古。 | 体調を整える。 |
| 4. | 照明仕込み。<br>俳優は小返し、及び芝居場とMナンバー稽古。 | 体調を整える。 |
| 5. | 照明仕込み。<br>俳優は小返し、及び芝居場とMナンバー稽古。 | 体調を整える。 |
| 6. | 照明仕込み。<br>俳優は小返し、及び芝居場とMナンバー稽古。 | 体調を整える。 |
| 7. | 照明仕込み。<br>俳優は小返し、及び芝居場とMナンバー稽古。 | 体調を整える。 |
| 8. | 照明仕込み。<br>俳優は小返し、及び芝居場とMナンバー稽古。 | 体調を整える。 |
| 9. | 照明仕込み。<br>俳優は小返し、及び芝居場とMナンバー稽古。 | 体調を整える。 |
| 10. | 照明仕込み。<br>俳優は小返し、及び芝居場とMナンバー稽古。 | 体調を整える。 |
| 11. | １幕明かり作り。 | 体調を整える。 |
| 12. | １幕明かり作り。 | 体調を整える。 |
| 13. | １幕明かり作り。 | 体調を整える。 |
| 14. | １幕明かり作り。 | 体調を整える。 |
| 15. | １幕明かり作り。 | 体調を整える。 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 「音楽劇Shinran」の台本と楽譜。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度５０%<br>授業内課題達成度５０５ |
| 特記すべき事項 | 音楽監督として40年を変える経験を有す。（上田聖子）<br>ミュージカル演出家として20年を超える経験を有する。（河本章宏） |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

2-17

| 科　目 | ミュージカル研究Ⅳ | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子・河本章宏 | 授業形態<br>単位数 | 実技<br>1単位 |
| 授業概要 | 2021年9月6日から9月10日までに行われる、「音楽劇Shinran」の舞台稽古。<br>俳優として、またスタッフとして音楽劇完成に向けて稽古、準備する。 | | |
| 到達目標 | 俳優として、舞台機構を使いながら場面を演じる事が出来る。<br>またスタッフとして、舞台機構を安全に使い、場面を進行する事が出来る。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 集中度、積極性、協調性を『受講態度』とする。<br>また俳優として、スタッフとして、演出家や音楽監督、舞台監督の指示の元、的確に判断し行動する事が出来る事を評価基準とする。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 16. | ２幕明かり作り。 | 体調を整える。 |
| 17. | ２幕明かり作り。 | 体調を整える。 |
| 18. | ２幕明かり作り。 | 体調を整える。 |
| 19. | ２幕明かり作り。 | 体調を整える。 |
| 20. | ２幕明かり作り。 | 体調を整える。 |
| 21. | 全幕の明かりきっかけ合わせ。 | 体調を整える。 |
| 22. | 全幕の明かりきっかけ合わせ。 | 体調を整える。 |
| 23. | 全幕の明かりきっかけ合わせ。 | 体調を整える。 |
| 24. | | |
| 25. | | |
| 26. | | |
| 27. | | |
| 28. | | |
| 29. | | |
| 30. | | |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 「音楽劇Shinran」の台本と楽譜。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度５０％<br>授業内課題達成度５０５ |
| 特記すべき事項 | 音楽監督として40年を変える経験を有す。（上田聖子）<br>ミュージカル演出家として20年を超える経験を有する。（河本章宏） |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

2-12

| 科　目 | 舞台演習Ⅲ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 井上嘉人 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | 舞台監督の仕事を通して、舞台作りの基本を学ぶ。 | | |
| 到達目標 | 舞台芸術を創作する上での、劇場スタッフに必要な知識と技術を身に付ける。 | | |
| 学習成果の評価基準 | スタッフワークの基礎知識の取得を測るために、受講態度（４０%）・授業内課題（３０%）・その他（レポート提出３０%）で評価します。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 舞台監督の仕事の復習　（１年生の復習） | １年生の振り返り |
| 2. | 綱元操作の復習（舞台機構の再確認） | 綱元の操作復習 |
| 3. | 綱元操作の応用（舞台機構の再確認） | 綱元の操作応用 |
| 4. | 舞台演目について学ぶ　（さまざまな演目） | 舞台演目の理解 |
| 5. | 舞台監督の仕事　（舞台のスケジュール） | 仕事の理解 |
| 6. | 舞台監督の仕事　（劇場との打合せ） | 仕事の理解 |
| 7. | 舞台監督の仕事　（舞台の搬入と搬出） | 仕事の理解 |
| 8. | 舞台監督の仕事　（仕込みの進め方～仕込み後の出演者への舞台説明） | 仕事の理解 |
| 9. | 舞台監督の仕事　（場当たり・抜き稽古） | 仕事の理解 |
| 10. | 舞台監督の仕事　（通し稽古の進め方） | 仕事の理解 |
| 11. | 舞台監督の仕事　（ゲネプロの進め方） | 仕事の理解 |
| 12. | 舞台監督の仕事　（公演本番の進め方） | 仕事の理解 |
| 13. | 舞台監督の仕事　（演劇について） | 仕事の理解 |
| 14. | 舞台監督の仕事　（ミュージカルについて） | 仕事の理解 |
| 15. | まとめ　（前期と後期の復習　・　振り返り） | レポートの提出 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度　（40%）　授業内課題　（30%）　その他【　レポート　】（30%） |
| 特記すべき事項 | |
| 質問・相談等の受付 | |

2-19

| 科　目 | 劇場演習Ⅳ | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子・河本章宏 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | 2021年9月28日から9月30日までに行われる、「音楽劇Shinran」の通し稽古とテクカルリハーサル。<br>及び制作作業。<br>俳優として、またスタッフとして音楽劇完成に向けて準備、リハーサルする。 | | |
| 到達目標 | 俳優として、舞台機構を使いながら演じる事が出来る。<br>舞台スタッフとして、舞台機構を安全に使い、場面を進行する事が出来る。<br>制作スタッフとして、観客の立場に立って資料や会場を準備する事が出来る。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 集中度、積極性、協調性を『受講態度』とする。<br>また俳優として、スタッフとして、的確に判断し行動する事が出来る事を評価基準とする。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる２幕通し稽古のためのプリセット。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 2. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる２幕通し稽古。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 3. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる２幕通し稽古。ダメ出しと修正。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 4. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる２幕通し稽古。ダメ出しと修正。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 5. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる２幕通し稽古。ダメ出しと修正。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 6. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古のためのプリセット。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 7. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。Ｉ幕通し。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 8. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。２幕通し。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 9. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。ダメ出しと修正。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 10. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。ダメ出しと修正。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 11. | 音響、照明、舞台装置などと共に行われるGPのためのプリセット。<br>客入れ準備。 | 体調を整える。 |
| 12. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われるGP。Ｉ幕。<br>（他学科、教職員総見） | 体調を整える。 |
| 13. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われるGP。２幕。<br>（他学科、教職員総見） | 体調を整える。 |
| 14. | 音響、照明、舞台装置などと共に行われるGP。ダメ出しと修正。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 15. | 音響、照明、舞台装置などと共に行われるGP。ダメ出しと修正。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 「音楽劇Shinran」の台本と楽譜 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度５０％<br>授業内課題達成度５０％ |
| 特記すべき事項 | 音楽監督として40年を変える経験を有す。（上田聖子）<br>ミュージカル演出家として20年を超える経験を有する。（河本章宏） |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

| 科　目 | 音響技術Ⅰ | 開講時期<br>履修方法 | ２年前期<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 穐田裕司 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | 音響のデジタル化に伴いデジタルミキサーやデジタル機器を使用し学校での公演、その他での本番の使用を目指す。 | | |
| 到達目標 | 学校での公演、その他での本番の使用を目指す。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 到達度確認テストを実施し評価する | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | アナログミキサーについて | アナログミキサー使用 |
| 2. | デジタルミキサーについて① | "劇場ミキサー<br>Si Conpact" |
| 3. | デジタルミキサーについて② | "劇場ミキサー<br>Si Conpact" |
| 4. | デジタルミキサーについて③ | "劇場ミキサー<br>Si Conpact" |
| 5. | 音源再生について | ＣＤ、ＭＤデッキ |
| 6. | パソコンからの音出し① | Qlab |
| 7. | パソコンからの音出し② | Qlab |
| 8. | パソコンからの音出し③ | Qlab |
| 9. | パソコンからの音出し④ | Qlab |
| 10. | パソコンを使用しての録音方法について① | Logic |
| 11. | パソコンを使用しての録音方法について② | Logic |
| 12. | パソコンを使用しての録音方法について③ | Logic |
| 13. | レコーディング① | グループによるレコーディング、機材 |
| 14. | レコーディング② | 楽器や声での録音 |
| 15. | まとめ | パソコン作業 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度　（40%）　授業内課題　（30%）　その他【　到達度テスト　】　（30%） |
| 特記すべき事項 | この科目の単位が取得できなければ、後期「音響技術Ⅱ」は履修できない |
| 質問・相談等の受付 | |

2-21

| 科　目 | 音響技術Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 穐田裕司 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | ミキサーの使い方、音響仕込み図の見方を理解し実践に備える。 | | |
| 到達目標 | 卒業公演にてのオペレート | | |
| 学習成果の評価基準 | 到達度確認テストを実施し評価する | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 波形編集① | ロジックソフト |
| 2. | 波形編集② | ロジックソフト |
| 3. | ＰＡ実技① | グループごとに機材準備 |
| 4. | ＰＡ実技② | グループごとに音出し |
| 5. | ＰＡ実技③ | グループごとに音出し |
| 6. | デジタルミキサーのパッチ方法 | デジタルミキサー |
| 7. | デジタルミキサーのシーンの活用 | デジタルミキサー |
| 8. | 内部エフェクターの使用方法 | デジタルミキサー |
| 9. | ＥＱでの調整方法 | デジタルミキサー |
| 10. | デジタルミキサーのまとめ | デジタルミキサー |
| 11. | 公演に向けての音響仕込み図　セッティング① | 劇場にての作業 |
| 12. | 公演に向けての音響仕込み図　セッティング② | 劇場にての作業 |
| 13. | 公演に向けての音響仕込み図　セッティング③ | 劇場にての作業 |
| 14. | 仕込み図を見て実際に配線をしての実技① | 楽器・記号等 |
| 15. | まとめ | スピーカー等の配置 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度　（40%）　授業内課題　（30%）　その他【　到達度テスト　】　（30%） |
| 特記すべき事項 | 前期「音響技術Ⅰ」履修者のみ受講可 |
| 質問・相談等の受付 | |

2-22

| 科　目 | 照明技術Ⅰ | 開講時期<br>履修方法 | ２年前期<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 赤司晴彦 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | 舞台照明の一般的用語を理解し、照明の仕込み方を学ぶ。 | | |
| 到達目標 | １年次に学んだ照明基礎を基に照明用語を理解し、照明プランにそって仕込が出来る技術を身に付ける | | |
| 学習成果の評価基準 | 積極性と理解度を受講態度とし、授業内課題の成果と共に評価する。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 舞台照明草莽品とメンテナンスの実践 | 消耗品を知る |
| 2. | スポット構造について～仮シュート～介護棒シュート実践 | 前回の復習 |
| 3. | スポット構造について～仮シュート～介護棒シュート実践 | 前回の復習 |
| 4. | DMC信号とコンソール | 不可制御操作 |
| 5. | DMC信号とコンソール | 不可制御操作 |
| 6. | 舞台における照明の作業 | 基礎作業の振り返り |
| 7. | 戯曲照明について | 作品の分析 |
| 8. | 戯曲照明について | 作品の分析 |
| 9. | 戯曲照明の確認 | 作品の分析 |
| 10. | コンソール制御実践 | 操作復習 |
| 11. | コンソール制御実践 | 操作復習 |
| 12. | ７月公演　仕込み | 仕込み図の確認 |
| 13. | ７月公演　仕込み | 仕込み図の確認 |
| 14. | ７月公演　仕込み | 仕込み図の確認 |
| 15. | まとめ | 振り返りと点検 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | プリント配布 |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度　(50%)　授業内課題　(20%)　その他【　レポート　】　(30%) |
| 特記すべき事項 | 作業できる服装、手袋必携 |
| 質問・相談等の受付 | |

2-23

| 科　目 | 照明技術Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 赤司晴彦 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | 舞台照明の持つ役割を理解して、作業に必要な技術を学ぶ。 | | |
| 到達目標 | 前期に学んだ照明の基礎知識を基に、より深く照明にについて学び、必要な技術を獲得する。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 積極性と理解度を受講態度とし、授業内課題の成果と共に評価する。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 前期レポートの確認 | 前期レポートの振り返り |
| 2. | DMX信号とコンソール | 信号の理解 |
| 3. | 照明実践　１　～役割分担 | 前回の復習 |
| 4. | 照明実践　２　～プラン | 照明プランの理解 |
| 5. | 照明実践　３　～事前準備 | 器材の事前準備 |
| 6. | 照明実践　４　～吊りこみ | プランの理解 |
| 7. | 照明実践　５　～パッチング | 前回の復習 |
| 8. | 照明実践　６　～　シュート（フォーカス） | 介護棒の扱い |
| 9. | 照明実践　７　～　シュート（フォーカス） | 介護棒の扱い |
| 10. | 照明実践　８　～明り作り | 演出プランの確認 |
| 11. | 照明実践　９　～リハーサル | 演出プランの確認 |
| 12. | 照明実践　１０　～ゲネプロ・本番 | 演出プランの確認 |
| 13. | 卒業公演　仕込み | 仕込み図の確認 |
| 14. | 卒業公演　仕込み | 仕込み図の確認 |
| 15. | まとめ | 振り返りと点検 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | プリントを配布 |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度　（50%）　　授業内課題　（50%） |
| 特記すべき事項 | 作業できる服装、手袋必携 |
| 質問・相談等の受付 | |

| 科　目 | 舞台機構演習 | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 穐田裕司 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | 舞台機構講習に向けての知識、技術の習得 | | |
| 到達目標 | 舞台機構演習3級に向けての実技　筆記の習得を目的とする。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 到達度確認テストを実施し評価する | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 舞台機構演習3級の過去の筆記問題集の学習その１ | 過去問題の学習 |
| 2. | 舞台機構演習3級の過去の筆記問題集の学習その２ | 過去問題の学習 |
| 3. | 舞台機構演習3級の過去の筆記問題集の学習その３ | 過去問題の学習 |
| 4. | 舞台機構演習3級の過去の筆記問題集の学習その４ | 過去問題の学習 |
| 5. | 楽器の音について１ | 音の聞き分け |
| 6. | 楽器の音について２ | 音の聞き分け |
| 7. | 楽器の音について３ | 音の聞き分け |
| 8. | 音響テクニカルについての実技１ | 音響操作 |
| 9. | 音響テクニカルについての実技２ | 音響操作 |
| 10. | 音響テクニカルについての実技３ | 音響操作 |
| 11. | 音響テクニカルについての実技４ | 音響操作 |
| 12. | 舞台機構演習3級に向けての音響調整実技１ | 音響調整 |
| 13. | 舞台機構演習3級に向けての音響調整実技２ | 音響調整 |
| 14. | 舞台機構演習3級に向けての音響調整実技３ | 音響調整 |
| 15. | 舞台機構演習3級に向けての音響調整実技４ | 音響調整 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度（20%）　小テスト（50%）　授業内課題（30%） |
| 特記すべき事項 | |
| 質問・相談等の受付 | |

2-25

| 科　目 | 劇場演習Ⅰ | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子・河本章宏 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | 2021年9月18日から9月20日までに行われる、「音楽劇Shinran」の舞台稽古、及びテクカルリハーサル。<br>俳優として、またスタッフとして音楽劇完成に向けてリハーサルする。 | | |
| 到達目標 | 俳優として、舞台機構を使いながら場面を演じる事が出来る。<br>またスタッフとして、舞台機構を安全に使い、場面を進行する事が出来る。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 集中度、積極性、協調性を『受講態度』とする。<br>また俳優として、スタッフとして、演出家や音楽監督、舞台監督の指示の元、的確に判断し行動する事が出来る事を評価基準とする。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 照明、音響、舞台装置などと共に行われる通し稽古のためのプリセット。 | 体調を整える。 |
| 2. | 照明、音響、舞台装置などと共に行われる通し稽古のための抜き稽古。 | 体調を整える。 |
| 3. | 照明、音響、舞台装置などと共に行われる通し稽古。<br>１幕通し。 | 体調を整える。 |
| 4. | 照明、音響、舞台装置などと共に行われる通し稽古。<br>２幕通し。 | 体調を整える。 |
| 5. | 照明、音響、舞台装置などと共に行われる通し稽古。<br>ダメ出しと修正作業。 | 体調を整える。 |
| 6. | バンド合わせ。<br>Ⅰ幕のMナンバー合わせと音響チェック。 | 体調を整える。 |
| 7. | バンド合わせ。<br>２幕のMナンバー合わせと音響チェック。 | 体調を整える。 |
| 8. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。<br>Ⅰ幕通し。 | 体調を整える。 |
| 9. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。<br>２幕通し。 | 体調を整える。 |
| 10. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。<br>ダメ出しと修正。 | 体調を整える。 |
| 11. | バンド、音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。<br>ダメ出しと修正。 | 体調を整える。 |
| 12. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。<br>ダメ出しと修正。 | 体調を整える。 |
| 13. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。<br>ダメ出しと修正。 | 体調を整える。 |
| 14. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。<br>ダメ出しと修正。 | 体調を整える。 |
| 15. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。<br>ダメ出しと修正。 | 体調を整える。 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 「音楽劇Shinran」の台本と楽譜 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度５０%<br>授業内課題達成度５０５ |
| 特記すべき事　項 | 音楽監督として40年を変える経験を有す。（上田聖子）<br>ミュージカル演出家として20年を超える経験を有する。（河本章宏） |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

| 科　目 | 劇場演習Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子・河本章宏 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | 2021年9月21日から9月24日までに行われる、「音楽劇Shinran」の通し稽古とテクカルリハーサル。<br>及び制作作業。<br>俳優として、またスタッフとして音楽劇完成に向けて準備、リハーサルする。 | | |
| 到達目標 | 俳優として、舞台機構を使いながら場面を演じる事が出来る。<br>舞台スタッフとして、舞台機構を安全に使い、場面を進行する事が出来る。<br>制作スタッフとして、観客の立場に立って資料や会場を準備する事ができる。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 集中度、積極性、協調性を『受講態度』とする。<br>また俳優として、スタッフとして、的確に判断し行動する事が出来る事を評価基準とする。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | テクニカルリハーサルと修正、及び小返し。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 2. | テクニカルリハーサルと修正、及び小返し。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 3. | テクニカルリハーサルと修正、及び小返し。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 4. | テクニカルリハーサルと修正、及び小返し。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 5. | テクニカルリハーサルと修正、及び小返し。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 6. | テクニカルリハーサルと修正、及び小返し。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 7. | テクニカルリハーサルと修正、及び小返し。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 8. | テクニカルリハーサルと修正、及び小返し。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 9. | テクニカルリハーサルと修正、及び小返し。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 10. | テクニカルリハーサルと修正、及び小返し。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 11. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古のためのプリセット。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 12. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。Ｉ幕通し。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 13. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。２幕通し。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 14. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。ダメ出しと修正。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 15. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。ダメ出しと修正。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 「音楽劇Shinran」の台本と楽譜 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度５０％<br>授業内課題達成度５０５ |
| 特記すべき事項 | 音楽監督として40年を変える経験を有す。（上田聖子）<br>ミュージカル演出家として20年を超える経験を有する。（河本章宏） |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

2-27

| 科　目 | 劇場演習Ⅲ | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子・河本章宏 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | 2021年9月25日から9月27日までに行われる、「音楽劇Shinran」の通し稽古とテクカルリハーサル。<br>及び制作作業。<br>俳優として、またスタッフとして音楽劇完成に向けて準備、リハーサルする。 | | |
| 到達目標 | 俳優として、舞台機構を使いながら場面を演じる事が出来る。<br>舞台スタッフとして、舞台機構を安全に使い、場面を進行する事が出来る。<br>制作スタッフとして、観客の立場に立って資料や会場を準備する事が出来る。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 集中度、積極性、協調性を『受講態度』とする。<br>また俳優として、スタッフとして、的確に判断し行動する事が出来る事を評価基準とする。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古のためのプリセット。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 2. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。Ⅰ幕通し。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 3. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。２幕通し。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 4. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。ダメ出しと修正。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 5. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。ダメ出しと修正。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 6. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古のためのプリセット。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 7. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。Ⅰ幕通し。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 8. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。２幕通し。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 9. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。ダメ出しと修正。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 10. | バンドと音響、照明、舞台装置などと共に行われる全幕通し稽古。ダメ出しと修正。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 11. | 音響、照明、舞台装置などと共に行われる１幕通し稽古のためのプリセット。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 12. | 音響、照明、舞台装置などと共に行われる１幕通し稽古。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 13. | 音響、照明、舞台装置などと共に行われる１幕通し稽古。ダメ出しと修正。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 14. | 音響、照明、舞台装置などと共に行われる１幕通し稽古。ダメ出しと修正。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |
| 15. | 音響、照明、舞台装置などと共に行われる１幕通し稽古。ダメ出しと修正。<br>制作作業。 | 体調を整える。 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 「音楽劇Shinran」の台本と楽譜 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度５０％<br>授業内課題達成度５０％ |
| 特記すべき事項 | 音楽監督として40年を変える経験を有す。（上田聖子）<br>ミュージカル演出家として20年を超える経験を有する。（河本章宏） |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

2-28

| 科　目 | 舞台演習Ⅳ | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 河本章宏 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | 2021年9月Ｉ日から9月3日までに行われる「音楽劇Shinran」の舞台仕込み。<br>盆、吊り物、等を設置する。 | | |
| 到達目標 | 安全を第一に舞台監督の指示の元、仕込み図に沿って舞台を仕込む事ができる。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 集中力、積極性、協調性などを『受講態度』とする。<br>舞台監督の指示を的確に把握し、全体の進行状況を見ながら的確に作業する事ができる。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 舞台仕込みの概要や注意点の説明。 | 体調を整える。 |
| 2. | 舞台の仕込み作業。<br>盆。 | 体調を整える。 |
| 3. | 舞台の仕込み作業。<br>盆。 | 体調を整える。 |
| 4. | 舞台の仕込み作業。<br>盆。 | 体調を整える。 |
| 5. | 舞台の仕込み作業。<br>盆。 | 体調を整える。 |
| 6. | 舞台の仕込み作業。<br>安全性の確認。 | 体調を整える。 |
| 7. | 舞台の仕込み作業。<br>吊り物。 | 体調を整える。 |
| 8. | 舞台の仕込み作業。<br>吊り物。 | 体調を整える。 |
| 9. | 舞台の仕込み作業。<br>吊り物。 | 体調を整える。 |
| 10. | 舞台の仕込み作業。<br>安全性の確認。 | 体調を整える。 |
| 11. | 舞台の仕込み作業。<br>その他の舞台周り作業。 | 体調を整える。 |
| 12. | 舞台の仕込み作業。<br>その他の舞台周り作業。 | 体調を整える。 |
| 13. | 舞台の仕込み作業。<br>その他の舞台周り作業。 | 体調を整える。 |
| 14. | 舞台の仕込み作業。<br>舞台全体の機構確認。 | 体調を整える。 |
| 15. | 舞台の仕込み作業。<br>日歌い全体の機構確認。 | 体調を整える。 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | なし。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度５０％<br>授業内課題達成度５０％ |
| 特記すべき事項 | 1987年～2017年東京で俳優、演出家として様々な作品に出演、演出。 |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

2-29

| 科　目 | 劇場演習Ⅴ | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 齋藤豊治・上田聖子 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | 2021年10月Ｉ日に行われる「音楽劇Shinran」のGPと、10月２日と10月3日に行われる本番。<br>俳優として、またスタッフとして、音楽劇の本番を行う。 | | |
| 到達目標 | 「音楽劇Shinran」の全幕を、土曜日２ステージと日曜日２ステージ、全４ステージ、俳優として又スタッフとして、上演する。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 集中度、積極性、協調性を『受講態度』とする。<br>また、俳優として自分の個性を生かし、役柄や場面にあった演技ができる事、スタッフとして的確な判断や動きが責任を持って出来る事を評価基準とする。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 10月Ｉ日、GPに向けて全ての舞台機構をチェック。及びプリセット。客入れ。 | 体調を整える。 |
| 2. | 10月Ｉ日、GP。（他学科学生及び教職員総見）<br>Ｉ幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 3. | 10月Ｉ日、GP。（他学科学生及び教職員総見）<br>２幕を上演する。終演後、ダメ出し。小返し。 | 体調を整える。 |
| 4. | 10月2日、本番。午前の部。<br>全ての舞台機構をチェック。及びプリセット。客入れ。 | 体調を整える。 |
| 5. | 10月2日、本番。午前の部。<br>Ｉ幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 6. | 10月2日、本番。午前の部。<br>２幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 7. | 10月2日。<br>ダメ出し。午後の部に向けて全ての舞台機構をチェック。及びプリセット。客入れ。 | 体調を整える。 |
| 8. | 10月2日、本番。午後の部。<br>Ｉ幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 9. | 10月2日、本番。午後の部。<br>２幕を上演する。終演後、ダメ出し。 | 体調を整える。 |
| 10. | 10月3日、本番。午前の部。<br>全ての舞台機構をチェック。及びプリセット。客入れ。 | 体調を整える。 |
| 11. | 10月3日、本番。午前の部。<br>Ｉ幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 12. | 10月3日、本番。午前の部。<br>２幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 13. | 10月3日。<br>ダメ出し。午後の部に向けて全ての舞台機構をチェック。及びプリセット。客入れ。 | 体調を整える。 |
| 14. | 10月3日、本番、午後の部。<br>Ｉ幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 15. | 10月3日、本番、午後の部。<br>２幕を妖艶する。終演後、ダメ出し。 | 体調を整える。 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 「音楽劇Shinran」の台本と楽譜。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度50%<br>授業内課題到達度50% |
| 特記すべき事項 | 演出家として40年を超える経験を有する。（齋藤豊治）<br>音楽監督として40年を超える経験を有する。（上田聖子） |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

2-30

| 科　目 | 劇場演習Ⅵ | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 齋藤豊治・上田聖子 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |

| | |
|---|---|
| 授業概要 | 2021年10月９日と10月10日に行われる「音楽劇Shinran」の本番と、10月8日に行われるGP。<br>俳優として、またスタッフとして、音楽劇の本番を行う。 |
| 到達目標 | 「音楽劇Shinran」の全幕を、土曜日２ステージと日曜日２ステージ、全４ステージ、俳優として又スタッフとして、上演する。 |
| 学習成果の評価基準 | 集中度、積極性、協調性を『受講態度』とする。<br>また、俳優として自分の個性を生かし、役柄や場面にあった演技ができる事、スタッフとして的確な判断や動きが責任を持って出来る事を評価基準とする。 |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 10月８日、GPに向けて全ての舞台機構をチェック。及びプリセット。 | 体調を整える。 |
| 2. | 10月８日、GP。<br>Ⅰ幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 3. | 10月８日、GP。<br>２幕を上演する。終了後ダメ出し。小返し。 | 体調を整える。 |
| 4. | 10月９日、本番。午前の部。<br>全ての舞台機構をチェック。及びプリセット。客入れ。 | 体調を整える。 |
| 5. | 10月９日、本番。午前の部。<br>Ⅰ幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 6. | 10月９日、本番。午前の部。<br>２幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 7. | 10月９日。<br>ダメ出し。午後の部に向けて全ての舞台機構をチェック。及びプリセット。客入れ。 | 体調を整える。 |
| 8. | 10月９日、本番。午後の部。<br>Ⅰ幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 9. | 10月９日、本番。午後の部。<br>２幕を上演する。終演後、ダメ出し。 | 体調を整える。 |
| 10. | 10月10日、本番。午前の部。<br>全ての舞台機構をチェック。及びプリセット。客入れ。 | 体調を整える。 |
| 11. | 10月10日、本番。午前の部。<br>Ⅰ幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 12. | 10月10日、本番。午前の部。<br>２幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 13. | 10月10日。<br>ダメ出し。午後の部に向けて全ての舞台機構をチェック。及びプリセット。客入れ。 | 体調を整える。 |
| 14. | 10月10日、本番、午後の部。<br>Ⅰ幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 15. | 10月10日、本番、午後の部。<br>２幕を上演する。終演後、ダメ出し。 | 体調を整える。 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 「音楽劇Shinran」の台本と楽譜。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度50%<br>授業内課題到達度50% |
| 特記すべき事項 | 演出家として40年を超える経験を有する。（齋藤豊治）<br>音楽監督として40年を超える経験を有する。（上田聖子） |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

| 科　目 | 劇場演習Ⅶ | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 齋藤豊治・上田聖子 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | 2021年10月16日と10月17日に行われる「音楽劇Shinran」の本番と、10月15日に行われるGP。<br>俳優として、またスタッフとして、音楽劇の本番を行う。 | | |
| 到達目標 | 「音楽劇Shinran」の全幕を、土曜日２ステージと日曜日２ステージ、全４ステージ、俳優として又スタッフとして、上演する。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 集中度、積極性、協調性を『受講態度』とする。<br>また、俳優として自分の個性を生かし、役柄や場面にあった演技ができる事、スタッフとして的確な判断や動きが責任を持って出来る事を評価基準とする。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 10月15日、GPに向けて全ての舞台機構をチェック。及びプリセット。 | 体調を整える。 |
| 2. | 10月15日、GP。<br>Ⅰ幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 3. | 10月15日、GP。<br>２幕を上演する。終了後ダメ出し。小返し。 | 体調を整える。 |
| 4. | 10月16日、本番。午前の部。<br>全ての舞台機構をチェック。及びプリセット。客入れ。 | 体調を整える。 |
| 5. | 10月16日、本番。午前の部。<br>Ⅰ幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 6. | 10月16日、本番。午前の部。<br>２幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 7. | 10月16日。<br>ダメ出し。午後の部に向けて全ての舞台機構をチェック。及びプリセット。客入れ。 | 体調を整える。 |
| 8. | 10月16日、本番。午後の部。<br>Ⅰ幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 9. | 10月16日、本番。午後の部。<br>２幕を上演する。終演後、ダメ出し。 | 体調を整える。 |
| 10. | 10月17日、本番。午前の部。<br>全ての舞台機構をチェック。及びプリセット。客入れ。 | 体調を整える。 |
| 11. | 10月17日、本番。午前の部。<br>Ⅰ幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 12. | 10月17日、本番。午前の部。<br>２幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 13. | 10月17日。<br>ダメ出し。午後の部に向けて全ての舞台機構をチェック。及びプリセット。客入れ。 | 体調を整える。 |
| 14. | 10月17日、本番、午後の部。<br>Ⅰ幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 15. | 10月17日、本番、午後の部。<br>２幕を上演する。終演後、ダメ出し。 | 体調を整える。 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 「音楽劇Shinran」の台本と楽譜。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度50%<br>授業内課題到達度50% |
| 特記すべき事項 | 演出家として40年を超える経験を有する。（齋藤豊治）<br>音楽監督として40年を超える経験を有する。（上田聖子） |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

| 科　目 | 劇場演習Ⅷ | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 齋藤豊治・上田聖子 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | 2021年10月23日と10月24日に行われる「音楽劇Shinran」の本番と、10月22日に行われるGP。<br>俳優として、またスタッフとして、音楽劇の本番を行う。 | | |
| 到達目標 | 「音楽劇Shinran」の全幕を、土曜日２ステージと日曜日２ステージ、全４ステージ、俳優として又スタッフとして、上演する。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 集中度、積極性、協調性を『受講態度』とする。<br>また、俳優として自分の個性を生かし、役柄や場面にあった演技ができる事、スタッフとして的確な判断や動きが責任を持って出来る事を評価基準とする。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 10月22日、GPに向けて全ての舞台機構をチェック。及びプリセット。 | 体調を整える。 |
| 2. | 10月22日、GP。<br>Ⅰ幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 3. | 10月22日、GP。<br>２幕を上演する。終了後ダメ出し。小返し。 | 体調を整える。 |
| 4. | 10月23日、本番。午前の部。<br>全ての舞台機構をチェック。及びプリセット。客入れ。 | 体調を整える。 |
| 5. | 10月23日、本番。午前の部。<br>Ⅰ幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 6. | 10月23日、本番。午前の部。<br>２幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 7. | 10月23日。<br>ダメ出し。午後の部に向けて全ての舞台機構をチェック。及びプリセット。客入れ。 | 体調を整える。 |
| 8. | 10月23日、本番。午後の部。<br>Ⅰ幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 9. | 10月23日、本番。午後の部。<br>２幕を上演する。終演後、ダメ出し。 | 体調を整える。 |
| 10. | 10月24日、本番。午前の部。<br>全ての舞台機構をチェック。及びプリセット。客入れ。 | 体調を整える。 |
| 11. | 10月24日、本番。午前の部。<br>Ⅰ幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 12. | 10月24日、本番。午前の部。<br>２幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 13. | 10月24日。<br>ダメ出し。午後の部に向けて全ての舞台機構をチェック。及びプリセット。客入れ。 | 体調を整える。 |
| 14. | 10月24日、本番、午後の部。<br>Ⅰ幕を上演する。 | 体調を整える。 |
| 15. | 10月24日、本番、午後の部。<br>２幕を上演する。 | 体調を整える。 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 「音楽劇Shinran」の台本と楽譜。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度50%<br>授業内課題到達度50% |
| 特記すべき事項 | 演出家として40年を超える経験を有する。（齋藤豊治）<br>音楽監督として40年を超える経験を有する。（上田聖子） |
| 質問・相談等の受付 | 常時受け付ける。 |

| 科　目 | 舞台表現法Ⅱ | 開講時期 | ２年前期 |
|---|---|---|---|
| | | 履修方法 | 選択、専門科目 |
| 担当者 | 河本章宏 | 授業形態 | 実技 |
| | | 単位数 | 1単位 |

| | |
|---|---|
| 授業概要 | 想像の設定の中で真実を生きる、真の俳優となるためのリアリズム演技を学びます。<br>様々な戯曲からシーンを演じ、感情、声、肉体からなる表現の本質を探究します。 |
| 到達目標 | 自由で個性豊かな俳優としての基礎を身につけ、表現者として自らの課題を発見することができる。 |
| 学習成果の評価基準 | 授業内課題において評価する<br>①肉体の解放が出来ている。<br>②状況に応じたリアルな感情表現が出来る。<br>③相手を受け入れて反応する事が出来る。<br>④脚本・演出の意図を汲み的確に演技をする事が出来る。 |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | トラスト練習（目隠し練習・観察・信頼/怖い領域に飛び込む） | ウォーミングアップ |
| 2. | 解放練習（解放とは？/日常生活での解放/ダンスでの解放・シアターゲーム） | ウォーミングアップ |
| 3. | センスリーワーク（コーヒーカップ練習法/暑さ、寒さの練習法） | ウォーミングアップ・リラックス |
| 4. | 感情準備（ストーリーの作り方・感情の記憶を誘導する） | ウォーミングアップ・リラックス |
| 5. | 置き換え練習（まるで～のように/置き換えで大事なこと） | ウォーミングアップ・リラックス |
| 6. | シーン・ワーク１（台詞・相手との関わり） | 台本を読んでおく |
| 7. | シーンワーク２（アクターズシークレット/シーンの目的） | 台本を読んでおく |
| 8. | シーンワーク３（前状況を作る、感じる） | 台本から想像する |
| 9. | シーンワーク４（モノローグ練習法/独り言～話す対象が居る場合～観客へ） | 台本を口に出して読んでみる |
| 10. | シーンワーク５（キャラクター作り/イメージを演じない・役の性格・肉体から・動物や実際の人物から） | 自分と役の相違を考える |
| 11. | シーンワーク６（脚本分析/目的とテーマを導き出す方法） | 台本を分析する |
| 12. | シーンワーク７（本読み/本読みで大事なこと・事前準備） | 台本を分析する |
| 13. | シーンワーク８（シーン練習/自意識との戦い） | 台詞を覚える |
| 14. | シーンワーク９（シーン練習/自己葛藤） | 台詞を覚える |
| 15. | シーンワーク１０（相手を受け入れる/傷つけない・ジャッジしない） | 台詞を覚える |

| | |
|---|---|
| 教科書 | プリントを配布する。 |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 授業態度（30%）授業内課題発表（70%）<br>課題発表時にコメントし、フィードバックします |
| 特記すべき事項 | 1987年～2017年東京において俳優・演出家として様々な作品に出演し、演出する。<br>ウォーミングアップを行い、動ける服装で受講のこと |
| 質問・相談等の受付 | 随時可。 |

2-34

| 科　目 | シアターコミュニケーション論Ⅰ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 日下部　信 | 授業形態<br>単位数 | 講義<br>2単位 |
| 授業概要 | 演劇マインドやスキルを深め、人や社会へ適応する力、関わり合う力を培っていく。<br>主に、社会人としての活動を意識した「自己表現力」「対話力」「共働力」の学びを展開する。 | | |
| 到達目標 | 演劇の視点に立った柔軟かつ応用性のあるコミュニケーション力を習得出来る。<br>また、社会人として役立つ「自己表現力」「対話力」「共働力」が身につく。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 積極的なスピーチ、プレゼン、グループ協議を「授業態度」の評価とする。<br>「自己表現力」「対話力」「共働力」の達成度を測るための「授業内課題」において70点を評価基準とする。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | イントロダクション／学びのねらいと進め方について | シラバスを見ておく |
| 2. | 自己紹介スピーチについて | スピーチ原稿を準備する |
| 3. | コミュニケーション力の段階的発達1 | 段階別に整理する |
| 4. | コミュニケーション力の段階的発達2 | 段階別に整理する |
| 5. | 演劇ワーク「教育格言」から生きる言葉を獲得する | 好きな格言を選んでおく |
| 6. | 演劇ワーク「クルーザー物語」から多様な解釈を受容する | 配布資料を読んでおく |
| 7. | 演劇ワーク「文学賞審査会」から他者の価値観に触れる | 配布資料を読んでおく |
| 8. | 即興モーニングページと効果について | 即興の意味を調べておく |
| 9. | 演劇における自己肯定感と自尊感情について | 演劇の特性を知る |
| 10. | ＫＪ法を用いた演劇力の考察と社会適用1 | 演劇の特性を知る |
| 11. | ＫＪ法を用いた演劇力の考察と社会適用2 | 演劇の特性を知る |
| 12. | 演劇ワーク「モノがたり」から物質の生命感覚を掴む | 配布資料を読んでおく |
| 13. | 「笑いの大学」から考える悲喜劇の転換を考える | 配布資料を読んでおく |
| 14. | 「サマータイムマシーンブルース」から過去・現在・未来を捉える | 配布資料を読んでおく |
| 15. | 知識と学習のまとめ | 今までの学びを振り返る |

| | |
|---|---|
| 教科書 | |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度50%、授業内課題50% |
| 特記すべき事項 | 劇作家・演出家として20年以上の実務経験 |
| 質問・相談等の受付 | Classroom利用 |

| 科　目 | 表現技法Ａ－Ⅰ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 齋藤豊治 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | この授業では、１年次に学んだ表現基礎の復習から始め、より高度な演技と演出法、演劇総体を学びます。 | | |
| 到達目標 | 言葉を生み出す以前の表現者として必要な身体のコントロールをを獲得します。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 授業内課題に積極的に取り組み、自主性と協調性をもって受講しているかを「授業内課題」「受講態度」として評価します。<br>また、到達度の確認として「レポート」を実施して点検評価をします。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 出会いのレッスン１ | 脱力のトレーニング |
| 2. | 出会いのレッスン２ | 前回の復習 |
| 3. | マイム１　「中性のマスク～人間の誕生」 | ニュートラルな立ち方 |
| 4. | マイム２　「中性のマスク～港での別れ」 | 前回の復習 |
| 5. | マイク３　「20年ぶりの稽古場 | 前回の復習 |
| 6. | 笑いの音階 | 笑いについて考える |
| 7. | マイム４　「思い出し笑い」 | 人間観察 |
| 8. | マイム５　「物で遊ぶ」 | 子どもの身体性の観察 |
| 9. | マイム６　「勘違い」 | 無対象行動の予習 |
| 10. | マイム７　「ブティック」白塗りのパントマイム | 無対象行動の復習 |
| 11. | マイム８　「OLの一日」 | 前回の復習 |
| 12. | クラウンのレッスン１ | 発表準備 |
| 13. | クラウンのレッスン２ | 発表準備 |
| 14. | クラウンのレッスン３ | 前回の復習 |
| 15. | まとめ | 達成度点検 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | プリントを配布 |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度（20%）　授業内課題（60%）　レポート（20%） |
| 特記すべき事項 | 稽古着で受講の事 |
| 質問・相談等の受付 | 随時受付 |

| 科　目 | 表現技法Ｂ－Ⅰ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 植木　誠 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | 音声表現の幅をさらに広げ、進路（声優）に向けて現実的に学ぶ。 | | |
| 到達目標 | 自身の将来に向け、希望進路開拓の実現。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。<br>授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。<br>評価は「ことば」「芝居」をみる。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 自己ＰＲ作成① | 卒業後の進路を考えておく<br>事務所・養成所研究 |
| 2. | 自己ＰＲ作成② | 卒業後の進路を考えておく<br>事務所・養成所研究 |
| 3. | 自己ＰＲ作成③ | 卒業後の進路を考えておく<br>事務所・養成所研究 |
| 4. | 自己ＰＲ作成④ | 卒業後の進路を考えておく<br>事務所・養成所研究 |
| 5. | 模擬面接 | 卒業後の進路を考えておく<br>事務所・養成所研究 |
| 6. | ナレーション課題① | 原稿を読んでおく |
| 7. | ナレーション課題② | 原稿を読んでおく |
| 8. | ナレーション課題③ | 原稿を読んでおく |
| 9. | 台詞課題 | プラン確認 |
| 10. | ボイスサンプル作成① | ９マス法の研究・実践 |
| 11. | ボイスサンプル作成② | ９マス法の研究・実践 |
| 12. | ボイスサンプル作成③ | ９マス法の研究・実践 |
| 13. | ボイスサンプル作成④ | ９マス法の研究・実践 |
| 14. | ボイスサンプル作成⑤ | ９マス法の研究・実践 |
| 15. | まとめ | 振り返り |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 台本・ナレーション原稿・台詞原稿等 |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度４０%、授業内成果発表６０% |
| 特記すべき事項 | 声優として多数の作品に出演 |
| 質問・相談等の受付 | |

2-37

| 科　目 | 表現技法Ｃ－Ⅰ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | ミュージカル歌曲の表現法を学ぶ。 | | |
| 到達目標 | ミュージカル歌曲を歌い、踊り、演技し、自分の個性と役柄にあった表現ができる。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 一人づつ、またはグループで発表する。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 自分の声質を知る。 | 発声練習。 |
| 2. | 自分の声室にあった発声法を学ぶ。 | 呼吸トレーニングと発声練習。 |
| 3. | ソロのミュージカル歌曲を譜読みする。 | 呼吸トレーニングと発声練習。<br>ソロの歌曲を覚える。 |
| 4. | ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その１。 | 呼吸トレーニングと発声練習。<br>ソロの歌曲を稽古。 |
| 5. | ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その２。 | 呼吸トレーニングと発声練習。<br>ソロの歌曲を稽古。 |
| 6. | ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その３。 | 呼吸トレーニングと発声練習。<br>ソロの歌曲を稽古。 |
| 7. | デュエットのミュージカル歌曲を譜読みする。 | 呼吸トレーニングと発声練習。<br>デュエット曲を稽古。 |
| 8. | デュエットのミュージカル歌曲を稽古する。その１。 | 呼吸トレーニングと発声練習。<br>デュエット曲を稽古。 |
| 9. | デュエットのミュージカル歌曲を稽古する。その２。 | 呼吸トレーニングと発声練習。<br>デュエッット曲を稽古。 |
| 10. | デュエットのミュージカル歌曲を稽古する。その３。 | 呼吸トレーニングと発声練習。<br>デュエット曲を稽古。 |
| 11. | アンサンブルのミュージカル歌曲を譜読みする。 | 呼吸トレーニングと発声練習。<br>アンサンブル曲を稽古。 |
| 12. | アンサンブルのミュージカル歌曲を稽古する。その１。 | 呼吸トレーニングと発声練習。<br>アンサンブル曲を稽古。 |
| 13. | アンサンブルのミュージカル歌曲を稽古する。その２。 | 呼吸トレーニングと発声練習。<br>アンサンブル曲を稽古。 |
| 14. | アンサンブルのミュージカル歌曲を稽古する。その３。 | 呼吸トレーニングと発声練習。<br>アンサンブル曲を稽古。 |
| 15. | まとめ。 | 呼吸トレーニングと発声練習。 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | なし。 |
| 参考書 | なし。 |
| 学習成果の評価方法 | 授業内発表７０％<br>受講態度３０％ |
| 特記すべき事項 | 音楽監督として40年以上の経験を有する。 |
| 質問・相談等の受付 | 授業中、また常時受け付ける。 |

2-38

| 科　目 | 表現技法Ｄ－Ⅰ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 日下部　信 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | 演劇で培った表現力やコミュニケーション力、対話力などを、就職や進学に生かす学びの展開。個別指導あり。 | | |
| 到達目標 | 社会人として役立つ「自己表現力」「対話力」「共働力」が身につき、具体的な進路に役立つ。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 積極的なスピーチ、プレゼン、グループ協議を「受講態度」とする。<br>「自己表現力」「対話力」「共働力」の達成度を測るための「授業内課題」において70点を評価基準とする。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | イントロダクション／学びのねらいと進め方について | シラバスを見ておく |
| 2. | 進路に関する情報収集について | 適性検査を受ける |
| 3. | 「今日のひと言」と気づきの日常効果について | 指定の課題に取り組む |
| 4. | ワーク「おはよう」と声の送受信について | 配布資料を読んでおく |
| 5. | おもてなしの概念と実践1 | 配布資料を読んでおく |
| 6. | おもてなしの概念と実践2 | 配布資料を読んでおく |
| 7. | 企画書づくり実践1 | 指定の課題に取り組む |
| 8. | 企画書づくり実践2 | 指定の課題に取り組む |
| 9. | 模擬面接 | 希望進路の資料を用意する |
| 10. | 表情と音声の関係について | 指定の課題に取り組む |
| 11. | 意志力と生活変化について1 | テキストを読んでおく |
| 12. | 意志力と生活変化について2 | テキストを読んでおく |
| 13. | 幼児教育における演劇の役割について：ゲスト講師 | 指定の課題に取り組む |
| 14. | 演劇表現と仏教的視座について：ゲスト講師 | 指定の課題に取り組む |
| 15. | 知識と学習のまとめ | 学びを振り返る |

| | |
|---|---|
| 教科書 | ケリー・マクゴニガル著「スタンフォードのストレスを力に変える教室」（だいわ文庫） |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度50%、授業内課題50% |
| 特記すべき事項 | 劇作家・演出家として20年以上の実務経験 |
| 質問・相談等の受付 | Classroom利用 |

2-89

| 科　目 | 表現技法Ｅ－Ⅰ | 開講時期<br>履修方法 | ２年通年<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 福田眞弓 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |

| | |
|---|---|
| 授業概要 | 技術・表現の向上 |
| 到達目標 | 音に合わせて表現し、さらに技術の向上。曲やﾐｭｰｼﾞｶﾙの歴史、内容について理解することができる。 |
| 学習成果の評価基準 | 毎授業の復習を含めた授業中の成果及び最後の授業で行うテストの成果で評価する。 |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 基礎の見直し | 美しい立ち方や、手足のポジションの見直し |
| 2. | 振付①・音に合わせて表現する① | 振付を覚える<br>授業内での注意点の練習<br>表現技術面で考え、身体で表現できるようにしてくる |
| 3. | 振付①・音に合わせて表現する② | 授業内での注意点の練習<br>表現技術面で考え、身体で表現できるようにしてくる |
| 4. | 振付②・音に合わせて表現する③ | 授業内での注意点の練習<br>表現技術面で考え、身体で表現できるようにしてくる |
| 5. | 振付②・音に合わせて表現する④ | 授業内での注意点の練習<br>表現技術面で考え、身体で表現できるようにしてくる |
| 6. | 振付②・音に合わせて表現する⑤ | 授業内での注意点の練習<br>表現技術面で考え、身体で表現できるようにしてくる |
| 7. | 振付③・音に合わせて表現する⑥ | 授業内での注意点の練習<br>表現技術面で考え、身体で表現できるようにしてくる |
| 8. | 振付③・音に合わせて表現する⑦ | 授業内での注意点の練習<br>表現技術面で考え、身体で表現できるようにしてくる |
| 9. | 振付③・音に合わせて表現する⑧ | 授業内での注意点の練習<br>表現技術面で考え、身体で表現できるようにしてくる |
| 10. | 振付④・表現して踊る① | 振付を覚え、技術向上させる |
| 11. | 表現、技術共に取り入れて踊る | 自分らしく表現する練習 |
| 12. | 表現して踊る | 技術向上させてくる |
| 13. | 振付⑤・技術面にも挑戦しながら表現する① | 振付を覚え、技術向上させる |
| 14. | 技術、表現を使って心と身体で踊る① | 技術向上させてくる |
| 15. | 技術、表現を使って心と身体で踊る② | 自分らしく表現する練習 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度　(40%)　小テスト　(10%)　授業内課題　(30%)　定期試験（10%）　授業内発表（10%） |
| 特記すべき事項 | |
| 質問・相談等の受付 | |

2-40

| 科　目 | 表現技法Ｆ－Ｉ | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 河本章宏 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>1単位 |
| 授業概要 | 想像の設定の中で真実を生きる、プロの俳優になるためのリアリズム演技を学びます。<br>前期に学んだ演技の基礎を様々な戯曲を使って実践していきます。 | | |
| 到達目標 | 自由で個性豊かな俳優としての基礎を身につけ、表現者として自らの課題を発見することができる。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 授業内課題において評価する。<br>①肉体の解放が出来ている。<br>②状況に応じたリアルな感情表現が出来る。<br>③独創性のある発想で表現することが出来る。<br>④脚本・演出の意図を汲み的確に演技をする事が出来る。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | シーンワーク１（映像演技～感情とは？） | テキストを読み分析する |
| 2. | シーンワーク２（映像演技～台詞とは？） | テキストを読み分析する |
| 3. | シーンワーク３（映像演技～ビヘイビアとは？） | テキストを読み分析する |
| 4. | シーンワーク４（映像演技～今起きていることに反応する） | テキストを読み分析する |
| 5. | シーンワーク５（映像演技～カメラの前で演じること） | テキストを読み分析する |
| 6. | シーンワーク６（舞台演技～伝えること） | テキストを読み分析する |
| 7. | シーンワーク７（舞台演技～立ち位置） | テキストを読み分析する |
| 8. | シーンワーク８（舞台演技～リアルと表現） | テキストを読み分析する |
| 9. | シーンワーク９（舞台表現～古典を読む） | テキストを読み分析する |
| 10. | シーンワーク１０（舞台表現～古典を読む） | テキストを読み分析する |
| 11. | シーンワーク１１（舞台表現～ミュージカルとは？） | テキストを読み分析する |
| 12. | シーンワーク１２（舞台表現～ミュージカルとは？） | テキストを読み分析する |
| 13. | シーンワーク１３（自由表現～純粋なるものとは？） | モノを様々な角度から考察する |
| 14. | シーンワーク１４（自由表現～純粋なるものとは？） | モノを様々な角度から考察する |
| 15. | まとめ | |

| | |
|---|---|
| 教科書 | プリントを配布する。 |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 授業態度（30%）授業内課題（70%）<br>課題発表時にコメントし、フィードバックします。 |
| 特記すべき事項 | 1987年～2017年東京において俳優・演出家として様々な作品に出演し、演出する。<br>ウォーミングアップを行い、動ける服装で受講のこと。 |
| 質問・相談等の受付 | 随時可。 |

2-41

| 科　目 | 公演演習発展 | 開講時期<br>履修方法 | ２年前期<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 植木　誠 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>2単位 |
| 授業概要 | ２年７月公演の演劇表現を通して、自己と他者の関わりを学ぶ。 | | |
| 到達目標 | 演劇公演を通して、自主性と協調性を兼ね備えた発展的なコミュケーション能力の獲得を目標とする。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 公演への取り組み方を「受講態度」の評価とする。<br>公演に対しての学びの実践力を、コミュニケーション能力として総合的に評価する。<br>公演本番を成果発表として評価する。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 舞台仕込み① | 仕込み図の予習 |
| 2. | 舞台仕込み② | 仕込み図の予習 |
| 3. | 舞台仕込み③ | 前回の復習 |
| 4. | 舞台仕込み④ | 前回の復習 |
| 5. | 音合わせ① | キューシート |
| 6. | 音合わせ② | キューシート |
| 7. | 音合わせ③ | キューシート |
| 8. | 明かり合わせ① | キューシート |
| 9. | 明かり合わせ② | キューシート |
| 10. | 明かり合わせ③ | キューシート |
| 11. | 明かり合わせ④ | キューシート |
| 12. | 通し稽古① | 香盤表の確認 |
| 13. | 通し稽古② | 香盤表の確認 |
| 14. | 通し稽古③ | 香盤表の確認 |
| 15. | 通し稽古④ | 香盤表の確認 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 上演台本 |
| 参考書 | 上演台本 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度６０%、成果発表４０%（各稽古・本番後にフィードバックを行う） |
| 特記すべき事項 | 演出家として多数の作品を演出 |
| 質問・相談等の受付 | |

2-X2

| 科　目 | 舞台演習発展Ⅰ | 開講時期<br>履修方法 | ２年前期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 植木　誠 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>2単位 |
| 授業概要 | ２年７月公演の稽古を積み重ね、他者との協働を学ぶ。 | | |
| 到達目標 | 公演稽古を通して、身体表現力や音声表現力を高め、他者との関わりの中での自己表現が出来るようになる。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。<br>様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え評価する。<br>評価は都度フィードバックしていく。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 戯曲の本読み① | 戯曲の理解 |
| 2. | 戯曲の本読み② | 戯曲の理解 |
| 3. | 戯曲の本読み③ | 戯曲の理解 |
| 4. | 戯曲の本読み④ | 戯曲の理解 |
| 5. | 戯曲の本読み⑤ | 演技プラン作成 |
| 6. | 戯曲の本読み⑥ | 演技プラン作成 |
| 7. | 戯曲の本読み⑦ | 演技プラン作成 |
| 8. | 戯曲の本読み⑧ | 演技プラン作成 |
| 9. | 戯曲の本読み⑨ | 演技プラン作成 |
| 10. | 戯曲の本読み⑩ | 演技プラン作成 |
| 11. | 芝居稽古① | 発声・ストレッチ<br>ミザンスの確認 |
| 12. | 芝居稽古② | 発声・ストレッチ<br>ミザンスの確認 |
| 13. | 芝居稽古③ | 発声・ストレッチ<br>ミザンスの確認 |
| 14. | 芝居稽古④ | 発声・ストレッチ<br>ミザンスの確認 |
| 15. | 芝居稽古⑤ | 発声・ストレッチ<br>ミザンスの確認 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 上演台本 |
| 参考書 | 上演台本 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度５０%、成果発表５０% |
| 特記すべき事項 | 演出家として多数の作品を演出 |
| 質問・相談等の受付 | |

2-43

| 科　目 | 舞台演習発展Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年前期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 植木　誠 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>2単位 |
| 授業概要 | ２年７月公演に向けて、演技表現の稽古を積み重ね、自己表現力を高める。 | | |
| 到達目標 | 言葉を生み出す身体を土台にして、身体表現と音声表現の質を高めることを目標とする。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。<br>様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え評価する。<br>評価は都度フィードバックしていく。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | テーブル稽古① | 戯曲の理解 |
| 2. | テーブル稽古② | 戯曲の理解 |
| 3. | テーブル稽古③ | 戯曲の理解 |
| 4. | テーブル稽古④ | 戯曲の理解 |
| 5. | テーブル稽古⑤ | 演技プラン作成 |
| 6. | テーブル稽古⑥ | 演技プラン作成 |
| 7. | テーブル稽古⑦ | 演技プラン作成 |
| 8. | テーブル稽古⑧ | 演技プラン作成 |
| 9. | 立ち稽古① | 発声・ストレッチ<br>ミザンス確認 |
| 10. | 立ち稽古② | 発声・ストレッチ<br>ミザンス確認 |
| 11. | 立ち稽古③ | 発声・ストレッチ<br>ミザンス確認 |
| 12. | 立ち稽古④ | 発声・ストレッチ<br>ミザンス確認 |
| 13. | 立ち稽古⑤ | 発声・ストレッチ<br>ミザンス確認 |
| 14. | 立ち稽古⑥ | 発声・ストレッチ<br>ミザンス確認 |
| 15. | 立ち稽古⑦ | 発声・ストレッチ<br>ミザンス確認 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 上演台本 |
| 参考書 | 上演台本 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度５０%、成果発表５０% |
| 特記すべき事項 | 演出家として多数の作品を演出 |
| 質問・相談等の受付 | |

| 科　目 | 舞台演習発展Ⅲ | 開講時期<br>履修方法 | ２年前期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 植木　誠 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>2単位 |
| 授業概要 | ２年７月公演稽古を通して、演劇表現と共に、スタッフ表現も学ぶ。 | | |
| 到達目標 | 身体表現・音声表現のみならず、スタッフワークについても学ぶことにより、より社会的・発展的なコミュニケーション能力を獲得する。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。<br>様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え評価する。<br>評価は都度フィードバックしていく。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 小道具作成① | プランチェック |
| 2. | 小道具作成② | プランチェック |
| 3. | 小道具作成③ | プランチェック |
| 4. | 大道具作成① | 美術プラン確認 |
| 5. | 大道具作成② | 美術プラン確認 |
| 6. | 大道具作成③ | 美術プラン確認 |
| 7. | 広報宣伝① | ツール確認 |
| 8. | 広報宣伝② | ツール確認 |
| 9. | 広報宣伝③ | ツール確認 |
| 10. | 衣装製作① | 衣装プラン確認 |
| 11. | 衣装製作② | 衣装プラン確認 |
| 12. | 衣装製作③ | 衣装プラン確認 |
| 13. | 劇場での仕込み① | 舞台図の確認 |
| 14. | 劇場での仕込み② | 舞台図の確認 |
| 15. | 劇場での仕込み③ | 舞台図の確認 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 上演台本・キューシート |
| 参考書 | 美術プラン・照明プラン・音響プラン・衣装プラン |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度５０%、成果発表５０% |
| 特記すべき事項 | 演出家として多数の作品を演出 |
| 質問・相談等の受付 | |

2-45

| 科　目 | 公演演習総合 | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子・河本章宏 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>2単位 |
| 授業概要 | 演劇・ミュージカルの作品を通して舞台表現をゼロから創作していく。脚本、演出、振付・作曲・照明、音響、衣裳、小道具、出演者、すべての創作活動はクリエイターたちとのコミュニケーションから放たれ、観客に伝達されていく。舞台創作における表現者の総合的な学びです。 | | |
| 到達目標 | 二年間の集大成である卒業公演を通して自主性と協調性を兼ね備えた豊かなコミュニケーション能力の獲得を目標とする。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 公演目標達成度で評価する。<br>(1)計画を立て安全に作業を行うことが出来る。<br>(2)仲間とコミュニケーションを取り段取り良く作業を進めることが出来る。<br>(3)準備、確認を怠らず与えられた仕事を遂行出来る。<br>(4)時間を厳守し、仲間への感謝を述べることが出来る。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 舞台仕込み(1)　大道具搬入・リノリウム | 仕込み図を見ておく |
| 2. | 舞台仕込み(2)　セット仕込み・吊りモノ仕込み | 安全確認 |
| 3. | 舞台仕込み(3)　安全確認 | 安全確認 |
| 4. | 照明仕込み | 仕込み図を確認する |
| 5. | 照明シュート・明かり作り(1) | 仕込み図を確認する |
| 6. | 照明シュート・明かり作り(2) | 仕込み図を確認する |
| 7. | 照明合わせ(1) | キューシートを見ておく |
| 8. | 照明合わせ(2) | キューシートを見ておく |
| 9. | 音響仕込み | 仕込み図を見ておく |
| 10. | 音響チェック(1)　SE/MEチェック　ワイヤレスマイクチェック | キューシートを見ておく |
| 11. | 音響チェック(2)　　バンド・サウンドチェック | キューシートを見ておく |
| 12. | 場当たり(1)　立ち位置の確認・きっかけの確認 | 台本・キューシート確認 |
| 13. | 場当たり(2) | 台本・キューシート確認 |
| 14. | 場当たり(3) | 台本・キューシート確認 |
| 15. | 場当たり(4) | 台本・キューシート確認 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 上演台本 |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 授業態度（50%）公演目標達成度（50%） |
| 特記すべき事項 | 1987年～2017年東京にて俳優、演出家として数多くの作品に出演し、演出する。 |
| 質問・相談等の受付 | 随時可。 |

2-46

| 科　目 | 舞台総合Ⅰ | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子・河本章宏 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>2単位 |
| 授業概要 | 二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。<br>時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。 | | |
| 到達目標 | ミュージカルの上演を通じて自己表現の本質を掴む。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 公演目標達成度で評価します。<br>(1)公演に向けて明確な目標を立てる。<br>(2)仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。<br>(3)自由な発想で表現することが出来る。<br>(4)演出家の意図を汲み表現することが出来る。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 戯曲の本読み | 戯曲の理解 |
| 2. | 戯曲の本読み | 戯曲の理解 |
| 3. | 戯曲の本読み | 戯曲の理解 |
| 4. | 戯曲の本読み | 演技プラン作成 |
| 5. | 戯曲の本読み | 演技プラン作成 |
| 6. | 戯曲の本読み | 演技プラン作成 |
| 7. | 歌唱稽古 | 発声・譜読み |
| 8. | 歌唱稽古 | 発声・譜読み |
| 9. | 歌唱稽古 | 発声・譜読み |
| 10. | 歌唱稽古 | 発声・譜読み |
| 11. | 歌唱稽古 | 発声・譜読み |
| 12. | 歌唱稽古 | 発声・譜読み |
| 13. | 歌唱稽古 | 発声・譜読み |
| 14. | 歌唱稽古 | 発声・譜読み |
| 15. | 歌唱稽古 | 発声・譜読み |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 上演台本 |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 授業態度（50%）公演目標達成度（50%） |
| 特記すべき事項 | 1987年～2017年東京で俳優、演出家として数々の作品に出演、演出。 |
| 質問・相談等の受付 | 随時可。 |

2-47

| 科　目 | 舞台総合Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子・河本章宏 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>2単位 |
| 授業概要 | 二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。<br>時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。 | | |
| 到達目標 | ミュージカルの上演を通じて身体表現言語と音声表現言語の質を高め、自己表現の本質を掴む。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 公演目標達成度で評価します。<br>(1)公演に向けて明確な目標を立てる。<br>(2)仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。<br>(3)自由な発想で表現することが出来る。<br>(4)演出家の意図を汲み表現することが出来る。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | テーブル稽古 | 下読み |
| 2. | テーブル稽古 | 下読み |
| 3. | テーブル稽古 | 役作り |
| 4. | テーブル稽古 | 役作り |
| 5. | テーブル稽古 | 役作り |
| 6. | 立ち稽古 | ミザンス確認 |
| 7. | 立ち稽古 | ミザンス確認 |
| 8. | 立ち稽古 | ミザンス確認 |
| 9. | 立ち稽古 | ミザンス確認 |
| 10. | 立ち稽古 | ミザンス確認 |
| 11. | 立ち稽古 | ミザンス確認 |
| 12. | 立ち稽古 | ミザンス確認 |
| 13. | 立ち稽古 | ミザンス確認 |
| 14. | 立ち稽古 | ミザンス確認 |
| 15. | 立ち稽古 | ミザンス確認 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 上演台本 |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 授業態度（50%）公演目標達成度（50%） |
| 特記すべき事項 | 1987年～2017年東京で俳優、演出家として数々の作品に出演し、演出する。 |
| 質問・相談等の受付 | 随時可。 |

2-48

| 科　目 | 舞台総合Ⅲ | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期集中<br>選択、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 上田聖子・河本章宏 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>2単位 |
| 授業概要 | 二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。<br>時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。 | | |
| 到達目標 | ミュージカルの上演を通じて身体表現言語と音声表現言語の質を高め、自己表現の本質を掴む。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 公演目標達成度で評価します。<br>(1)公演に向けて明確な目標を立てる。<br>(2)仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。<br>(3)自由な発想で表現することが出来る。<br>(4)演出家の意図を汲み表現することが出来る。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 演技の抜き稽古 | 復習・自主稽古 |
| 2. | 演技の抜き稽古 | 復習・自主稽古 |
| 3. | 演技の抜き稽古 | 復習・自主稽古 |
| 4. | 演技の抜き稽古 | 復習・自主稽古 |
| 5. | 演技の抜き稽古 | 復習・自主稽古 |
| 6. | 演技の抜き稽古 | 復習・自主稽古 |
| 7. | 演技の抜き稽古 | 復習・自主稽古 |
| 8. | 演技の抜き稽古 | 復習・自主稽古 |
| 9. | 歌唱の抜き稽古 | 復習・自主稽古 |
| 10. | 歌唱の抜き稽古 | 復習・自主稽古 |
| 11. | 歌唱の抜き稽古 | 復習・自主稽古 |
| 12. | 歌唱の抜き稽古 | 復習・自主稽古 |
| 13. | 歌唱の抜き稽古 | 復習・自主稽古 |
| 14. | 歌唱の抜き稽古 | 復習・自主稽古 |
| 15. | 歌唱の抜き稽古 | 復習・自主稽古 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 上演台本 |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 授業態度（50%）公演目標達成度（50%） |
| 特記すべき事項 | 1987年～2017年東京で俳優、演出家として数々の作品に出演、演出。 |
| 質問・相談等の受付 | 随時可。 |

2-69

| 科　目 | 卒業研究Ⅰ | 開講時期<br>履修方法 | ２年前期<br>必修、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 植木　誠 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>2単位 |
| 授業概要 | 定期公演に向け、作品と役を通して、他者との協働を学び自身の成長に繋げる。 | | |
| 到達目標 | １年次に体感した自己解放を更に発展させ、他者とのかかわりの中での自己表現を身につける。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 公演への取り組み方を「受講態度」の評価とする。<br>公演に対しての学びの実践力を、自己表現力として総合的に評価する。<br>公演本番を成果発表として評価する。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 公演概要の説明 | 配布プリントを読んでおく |
| 2. | キャストオーディション | 配布プリントを読んでおく |
| 3. | 本読み① | 台本を読んでおく |
| 4. | 本読み② | 台本を読んでおく |
| 5. | 本読み③ | 台本を読んでおく |
| 6. | 立ち稽古① | 台本を読んでおく |
| 7. | 立ち稽古② | 台詞を覚える |
| 8. | 立ち稽古③ | 台詞を覚える |
| 9. | 立ち稽古④ | 台詞を覚える |
| 10. | 立ち稽古⑤ | 台詞を覚える |
| 11. | 立ち稽古⑥ | 台詞を覚える |
| 12. | 立ち稽古⑦ | 台詞を覚える |
| 13. | 立ち稽古⑧ | 前回の復習 |
| 14. | 立ち稽古⑨ | 前回の復習 |
| 15. | 立ち稽古⑩ | 前回の復習 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 上演台本 |
| 参考書 | 上演台本 |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度６０%、成果発表４０%（各稽古・本番後にフィードバックを行う） |
| 特記すべき事項 | 演出家として多数の作品を演出 |
| 質問・相談等の受付 | |

| 科　目 | 卒業研究Ⅱ | 開講時期<br>履修方法 | ２年後期<br>必修、専門科目 |
|---|---|---|---|
| 担当者 | 齋藤豊治・上田聖子 | 授業形態<br>単位数 | 演習<br>2単位 |
| 授業概要 | ２年間の学びの集大成「卒業公演」に向けて、戯曲の読み合わせやミュージカル歌唱、ダンス、演技表現を総合的に学びます。 | | |
| 到達目標 | 作品の上演のために、身体言語表現と音声言語表現の質を高めて、観客に伝えることが出来る。 | | |
| 学習成果の評価基準 | 授業内課題に積極的に取り組み受講しているかを「受講態度」として点検評価すると共に、公演目標達成度を具体的に点検評価します。 | | |

| | 授業計画（授業内容） | 授業時間外学習<br>予習・復習 |
|---|---|---|
| 1. | 戯曲の本読み | 戯曲の理解　復習 |
| 2. | 戯曲の本読み | 戯曲の理解　復習 |
| 3. | 戯曲の本読み | 戯曲の理解　復習 |
| 4. | 戯曲の本読み | 戯曲の理解　復習 |
| 5. | 戯曲の本読み | 演技プラン作成　予習 |
| 6. | 戯曲の本読み | 演技プラン作成　予習 |
| 7. | 戯曲の本読み | 演技プラン作成　予習 |
| 8. | 歌唱稽古 | 発声　復習 |
| 9. | 歌唱稽古 | 発声　復習 |
| 10. | 歌唱稽古 | 発声　復習 |
| 11. | 歌唱稽古 | 発声　復習 |
| 12. | 歌唱稽古 | 発声　復習 |
| 13. | 歌唱稽古 | 発声　復習 |
| 14. | 歌唱稽古 | 発声　復習 |
| 15. | 歌唱稽古 | 発声　復習 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 上演台本　スコア |
| 参考書 | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度（40%）　公演目標達成度（60%） |
| 特記すべき事項 | |
| 質問・相談等の受付 | 随時受付 |